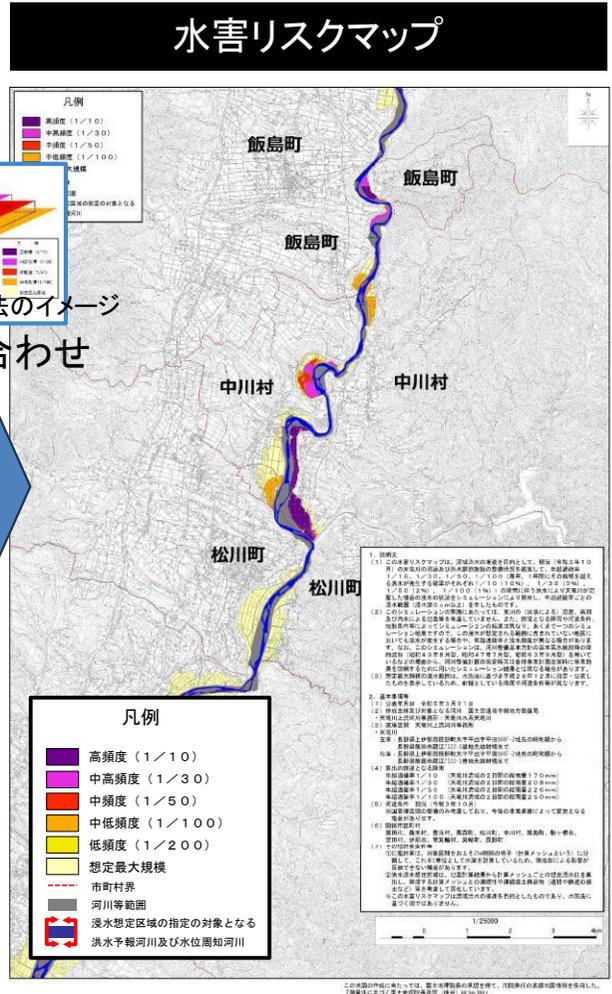
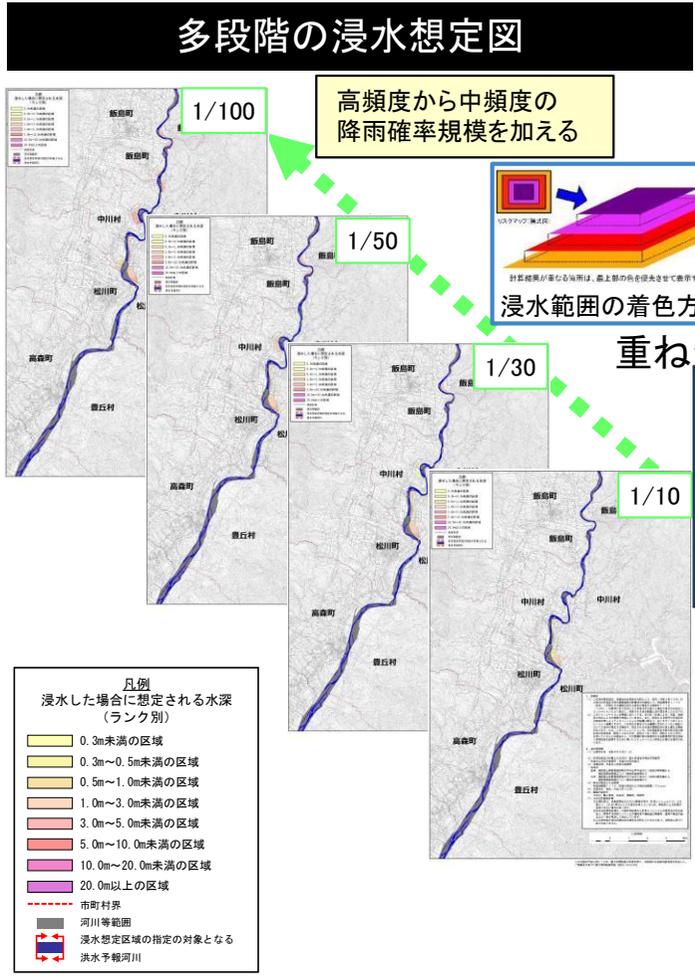
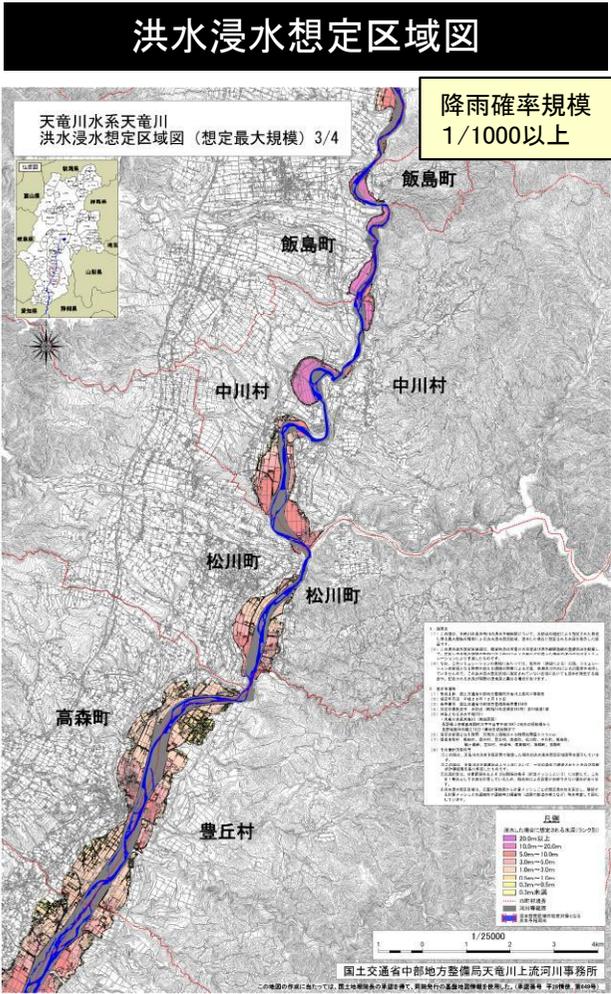


# 内外水統合版 水害リスクマップ等の公表

令和8年2月25日

## 【取組事例】 ③被害の軽減早期復旧・復興のための対策（内外水統合の水害リスクマップ、洪水浸水想定区域図の作成）

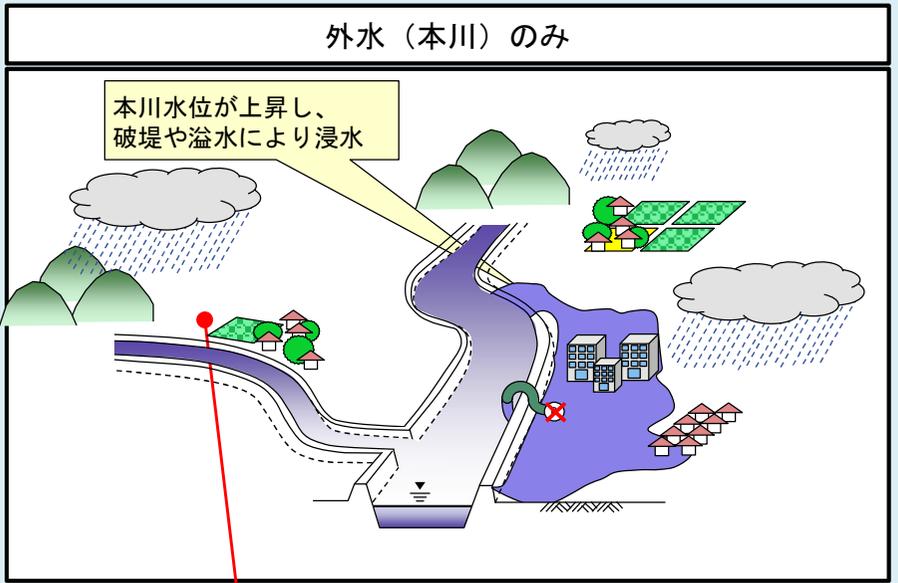
- 水防法に基づき住民等の迅速かつ円滑な避難に資する水害リスク情報として、想定最大規模を対象とした「**洪水浸水想定区域図**」を作成、公表(天竜川上流:平成28年12月)。
- また土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、国管理河川からの氾濫を対象とした「**多段階の浸水想定図**」及び「**水害リスクマップ**」を作成・公表(天竜川上流:令和5年3月)。



- 一般に高頻度、中頻度確率の雨の場合、外水(本川)からの氾濫の前に内水(支川等)からの氾濫が生じるケースが多い。そのため、防災まちづくりに活かす際には、外水(本川)と内水(支川等)の浸水リスクを統合化することが重要であり、国管理河川からの氾濫だけでなく、**県管理河川**や**内水氾濫も表現**することが必要となる。
- これまでに提供してきた洪水浸水想定区域図や多段階の浸水想定図、水害リスクマップはすべて国管理河川からの外水氾濫のみを対象としてきたため、**県管理河川からの氾濫や内水氾濫も表現した内外水統合版の水害リスクマップを作成した。**

**現状** 主要河川の外水氾濫を対象とした氾濫解析イメージ

外水(本川)のみ

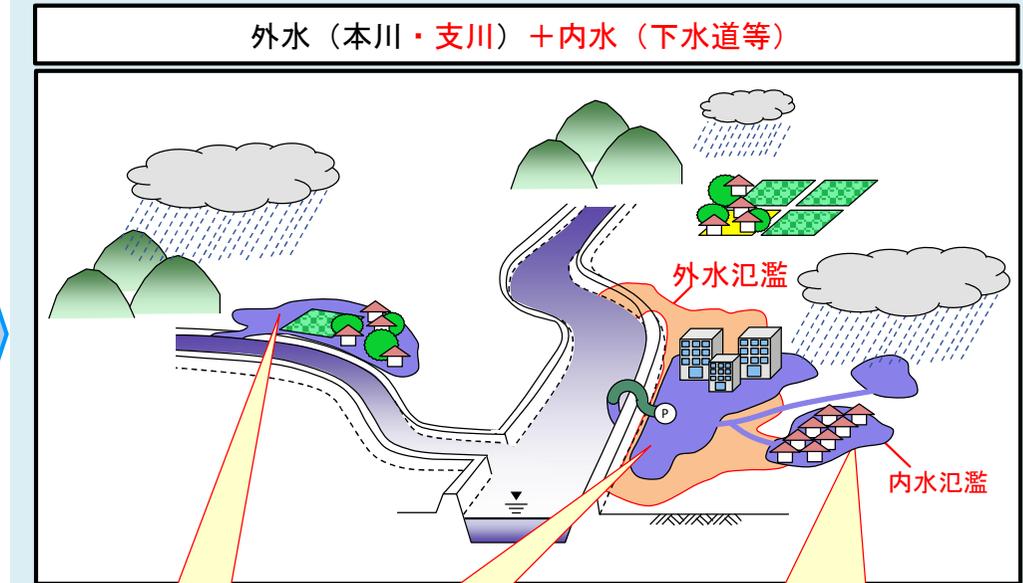


本川水位が上昇し、破堤や溢水により浸水

支川や内水氾濫(下水道などの浸水等)を考慮していないため、氾濫による水害リスクを正しく表現できていない  
⇒ 今後、このエリアに家が建つ可能性が生じる

**今回** 本支川・内外水一体型の氾濫解析イメージ

外水(本川・支川) + 内水(下水道等)



支川水位が上昇し、破堤や溢水により浸水

本川水位の上昇により、内水河川や排水路から排水できずに浸水

内水河川や排水路等の流域に短時間に強い雨が降ることで、排水能力を上回り浸水

⇒ 大中小河川、下水道等の浸水リスクを一体で確認可能



- 内外水統合の水害リスクマップを踏まえ、今後は土地利用規制や居住の誘導促進、企業BCPの作成、水害保険への水害リスクの反映といった活用が期待される。
- こうした取組により「水災害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり」を促進していく。
- このような活用を行っていくにあたって、**浸水リスク評価を適切に行うことが重要**であり、浸水シミュレーションの妥当性を担保するには、**信頼性を有するデータや資料を提供することが重要**である。

## 災害ハザードエリアから都市機能誘導区域への移転促進

**対象事業**

＜市町村、市町村都市再生協議会＞

○市町村が作成する都市の再生に必要な公共公益施設の整備等に関する計画(都市再生整備計画)に基づき実施される以下の事業

【基幹事業】  
道路、公園、河川、下水道、地域生活基盤施設(緑地、広場、地域防災施設等)、高質空間形成施設(歩行支援施設等)、高次都市施設、都市機能誘導区域内の誘導施設(医療、社会福祉、教育文化、子育て支援施設)※、土地区画整理事業等

【提案事業】  
事業活用調査、まちづくり活動推進事業(社会実験等)、地域創造支援事業(市町村の提案に基づくソフト事業・ハード事業)

＜民間事業者等＞

○都市再生整備計画に位置付けられた都市機能誘導区域内の誘導施設※の整備

ただし、市町村又は都道府県が事業主体に対して公的不動産等活用支援を行う事業であることを要件とし、事業主体に対する市町村の支援額と補助基本額(補助対象事業費の2/3)に国費率を乗じて得られた額のいずれか低い額を国の支援額とする。

※誘導施設については、三大都市圏域の政令市・特別区を除く市町村及び当該市町村の民間事業者等を支援対象とする。

出典：防災性向上に向けたまちづくりの取組状況について、国土交通省資料

## 滋賀県流域治水の事例

### 浸水警戒区域における建築物の建築の制限 (条例第24条)

- 10年確率降雨時における浸水深が50cm以上となる土地の区域では、盛土などにより一定の対策が講じられなければ、原則として市街化区域に編入しないことを規定。

### 浸水警戒区域における建築物の建築の制限 (条例第14条)

- 知事は、200年確率の降雨が生じた場合に、想定浸水深がおおむね3メートルを超える土地の区域を浸水警戒区域を指定することができ、区域内での住居等の建築に際しては知事の許可が必要となる(以下の①～③を確認)。



出典：水災害対策の取組状況について、国土交通省資料

## 概要

○これまでの洪水浸水想定区域図や多段階の浸水想定図、水害リスクマップはすべて直轄河川からの外水氾濫のみを対象としてきた。一般にその治水安全度の違いから本川氾濫に先んじて内水氾濫、支川氾濫が生じるケースが多く、高頻度、中高頻度の外力に対しては本川氾濫よりもこれらの氾濫が支配的になる場合も多い。

防災まちづくりに活かす際には、大河川、中小河川、下水道の浸水リスクを統合化することが重要で、直轄河川からの氾濫だけでなく、県管理河川からの氾濫や内水氾濫も表現することが必要となる。

➡ 直轄河川の氾濫だけでなく、県管理河川からの氾濫や内水氾濫も表現した内外水統合版の水害リスクマップを作成。

令和6年10月11日

内外水統合版水害リスクマップ作成に向けた説明会

- ・流出抑制施設の整備状況等の情報収集
- ・内水ハザードマップの確認
- ・現地調査

令和7年12月10～24日

内外水統合版水害リスクマップ 意見照会

令和8年 2月 9日

流域治水協議会 幹事会 協議

令和8年 2月25日

流域治水協議会 協議

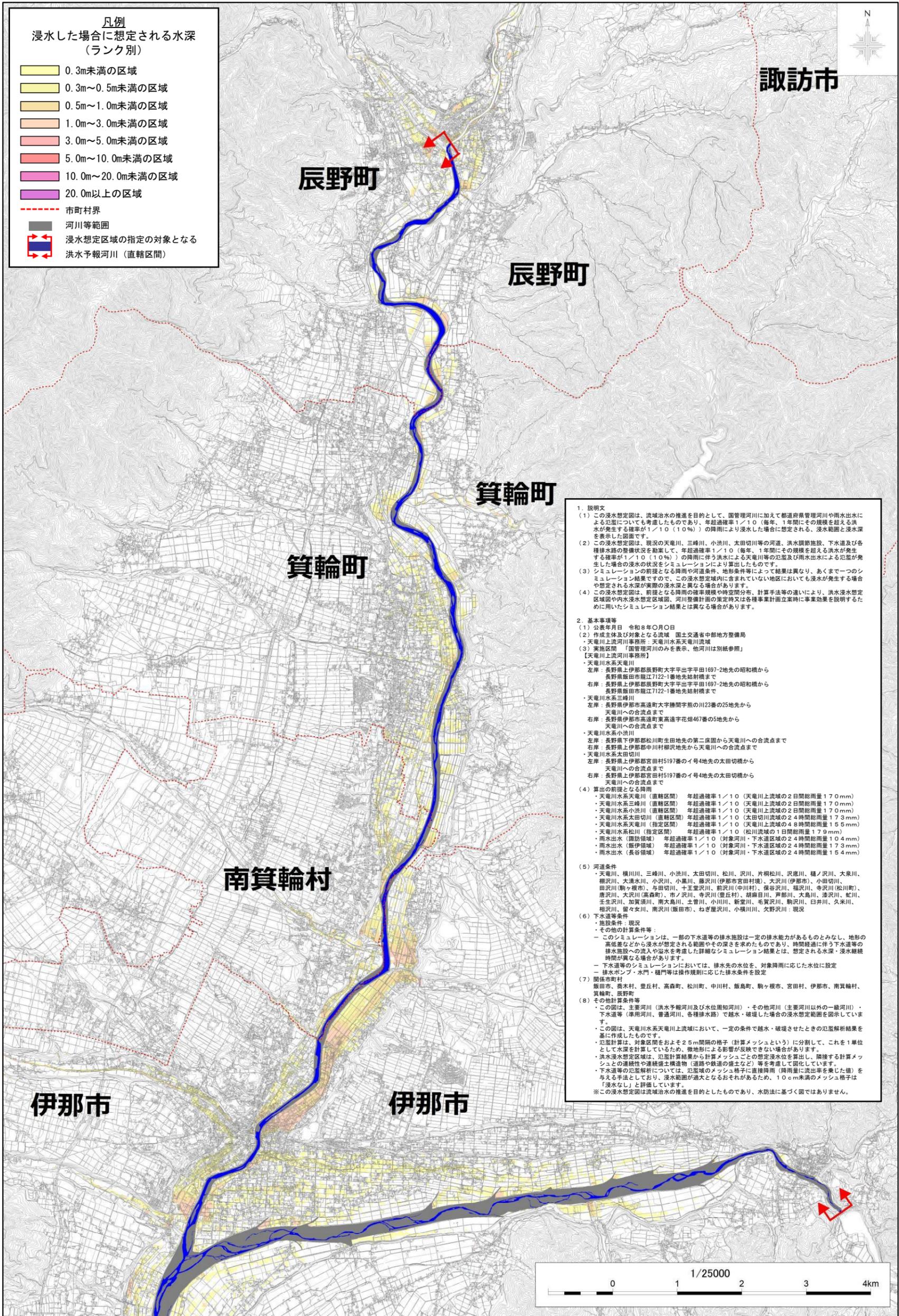
※ご意見・ご質問

令和8年 3月 (予定)

天竜川上流河川事務所ホームページ 公表

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／10規模降雨）

## 【現況河道】 4分の1



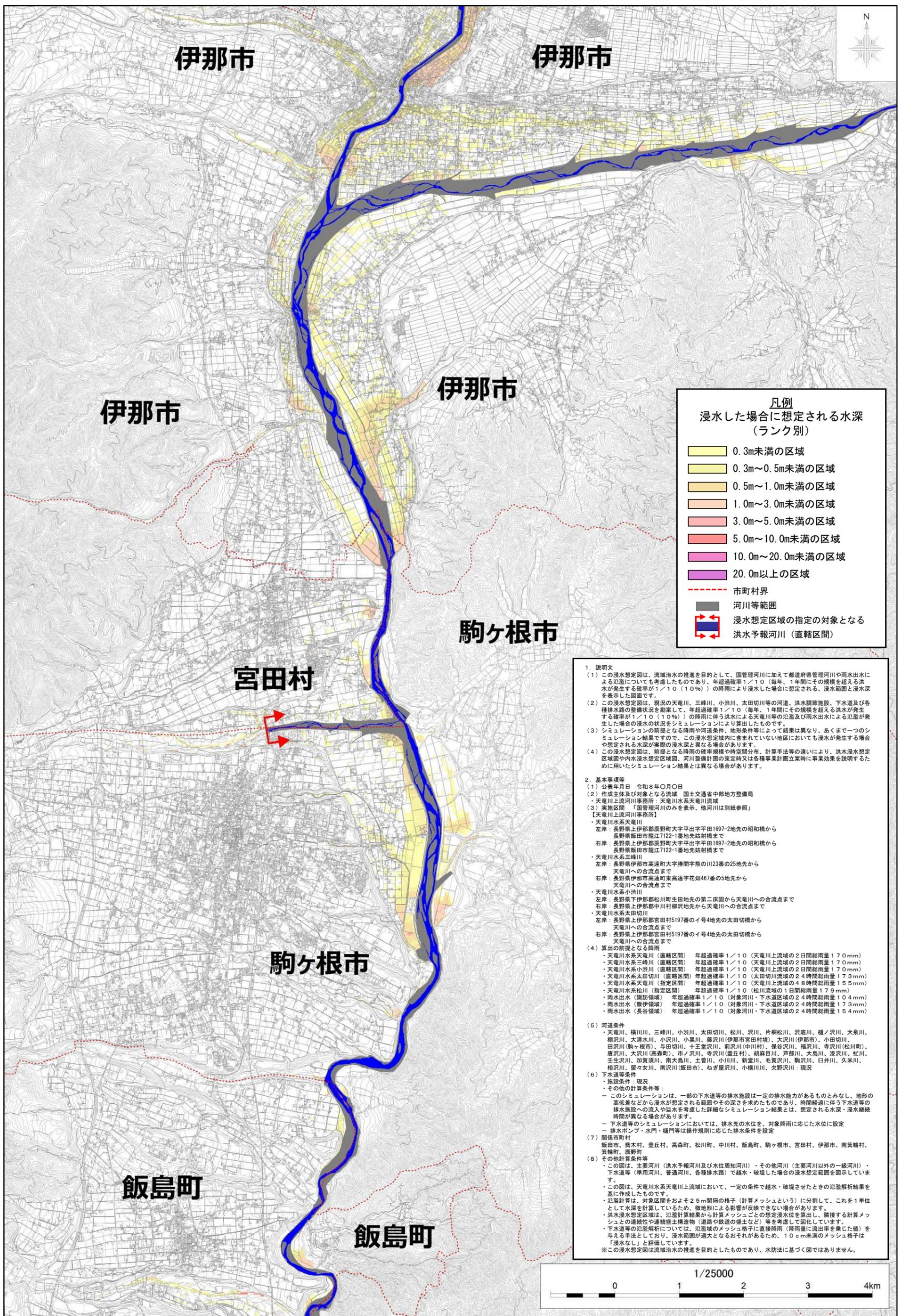
- 凡例**  
 浸水した場合に想定される水深  
 (ランク別)
- 0.3m未満の区域
  - 0.3m～0.5m未満の区域
  - 0.5m～1.0m未満の区域
  - 1.0m～3.0m未満の区域
  - 3.0m～5.0m未満の区域
  - 5.0m～10.0m未満の区域
  - 10.0m～20.0m未満の区域
  - 20.0m以上の区域
  - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川(直轄区間)

- 1. 説明文**
- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
  - (2) この浸水想定図は、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況シミュレーションにより算出したものです。
  - (3) 実施河川、管区管理河川のみを表示、他河川は別紙参照【天竜川上流河川事務所】  
 ・天竜川水系天竜川  
 左岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水まで  
 右岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水まで  
 ・天竜川水系三峰川  
 左岸：長野県伊那市高遠町大字膳間字龍の川23番の25地先から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑46番の5地先から  
 天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系小沢川  
 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二公園から天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系太田切川  
 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨  
 ・天竜川水系天竜川(直轄区間) 年超過確率1/10(天竜川上流域の2日間総雨量170mm)  
 ・天竜川水系三峰川(直轄区間) 年超過確率1/10(天竜川上流域の2日間総雨量170mm)  
 ・天竜川水系小沢川(直轄区間) 年超過確率1/10(天竜川上流域の2日間総雨量170mm)  
 ・天竜川水系太田切川(直轄区間) 年超過確率1/10(太田切川流域の24時間総雨量173mm)  
 ・天竜川水系天竜川(指定区間) 年超過確率1/10(天竜川上流域の48時間総雨量155mm)  
 ・天竜川水系松川(指定区間) 年超過確率1/10(松川流域の1日間総雨量179mm)  
 ・雨水出水(諏訪領域) 年超過確率1/10(対象河川・下水道区域の24時間総雨量104mm)  
 ・雨水出水(飯伊領域) 年超過確率1/10(対象河川・下水道区域の24時間総雨量173mm)  
 ・雨水出水(長谷領域) 年超過確率1/10(対象河川・下水道区域の24時間総雨量154mm)
  - (5) 河道条件  
 ・天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢底川、樋ノ沢川、大泉川、柳沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、与田川、十王堂沢川、前沢川(中川村)、保谷沢川、稲谷沢川、寺沢川(松川町)、藤沢川、大沢川(高森町)、市ノ沢川、寺沢川(豊丘村)、胡麻目川、戸部川、大島川、津沢川、蛇川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、白井川、久米川、柳沢川、龍女川、南沢川(飯田市)、おぎ原沢川、小横川川、文野沢川：現況
  - (6) 下水道等条件  
 ・施設条件：現況  
 ・その他の計算条件等：  
 - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水等を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定  
 - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定
  - (7) 関係市町村  
 飯田市、高木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町
  - (8) その他計算条件等  
 ・この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を図示しています。  
 ・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
 ・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ・洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。  
 ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)をおえる手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
 ※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／10規模降雨）

## 【現況河道】 4分の2



**凡例**  
浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m~0.5m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 1.0m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川(直轄区間)

1. 説明文  
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。  
 (2) この浸水想定図は、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。  
 (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。  
 (4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や内水浸水想定区域、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等  
 (1) 公表年月日 令和8年0月0日  
 (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
 ・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域  
 (3) 実地区間【国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照】  
 【天竜川上流河川事務所】  
 ・天竜川水系天竜川  
 左岸：長野県上伊那郡飯野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先給射橋まで  
 右岸：長野県上伊那郡飯野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先給射橋まで  
 ・天竜川水系三峰川  
 左岸：長野県伊那市高遠町大字膳間字熊の川1123番の25地先から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
 天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系小沢川  
 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二区間から天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県下伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系太田切川  
 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 (4) 算出の前提となる降雨  
 ・天竜川水系天竜川(直轄区間) 年超過確率1/10(天竜川上流域の2日間総雨量170mm)  
 ・天竜川水系小沢川(直轄区間) 年超過確率1/10(天竜川上流域の2日間総雨量170mm)  
 ・天竜川水系太田切川(直轄区間) 年超過確率1/10(太田切川流域の2.4時間総雨量173mm)  
 ・天竜川水系天竜川(指定区間) 年超過確率1/10(天竜川上流域の4.8時間総雨量155mm)  
 ・天竜川水系松川(指定区間) 年超過確率1/10(松川流域の1日間総雨量179mm)  
 ・雨水出水(諏訪領域) 年超過確率1/10(対象河川・下水道区域の2.4時間総雨量10.4mm)  
 ・雨水出水(飯伊領域) 年超過確率1/10(対象河川・下水道区域の2.4時間総雨量17.3mm)  
 ・雨水出水(長谷領域) 年超過確率1/10(対象河川・下水道区域の2.4時間総雨量15.4mm)

(5) 河道条件  
 ・天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢底川、樋ノ沢川、大泉川、柳沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、与田切川、十王堂沢川、前沢川(中川村)、袋谷沢川、福沢川、寺沢川(松川町)、鹿沢川、大沢川(飯野町)、市ノ沢川、寺沢川(登丘村)、柳原目川、赤部川、大島川、漆沢川、松川、生沢川、加賀沢川、新大島川、本宮川、小川川、新宮川、新宮沢川、飯沢川、日井川、久米川、相沢川、留々女川、南沢川(飯田市)、おぎ屋沢川、小横川川、矢野沢川：現況

(6) 下水道等条件  
 ・施設条件：現況  
 ・その他の計算条件等：  
 - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低下などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

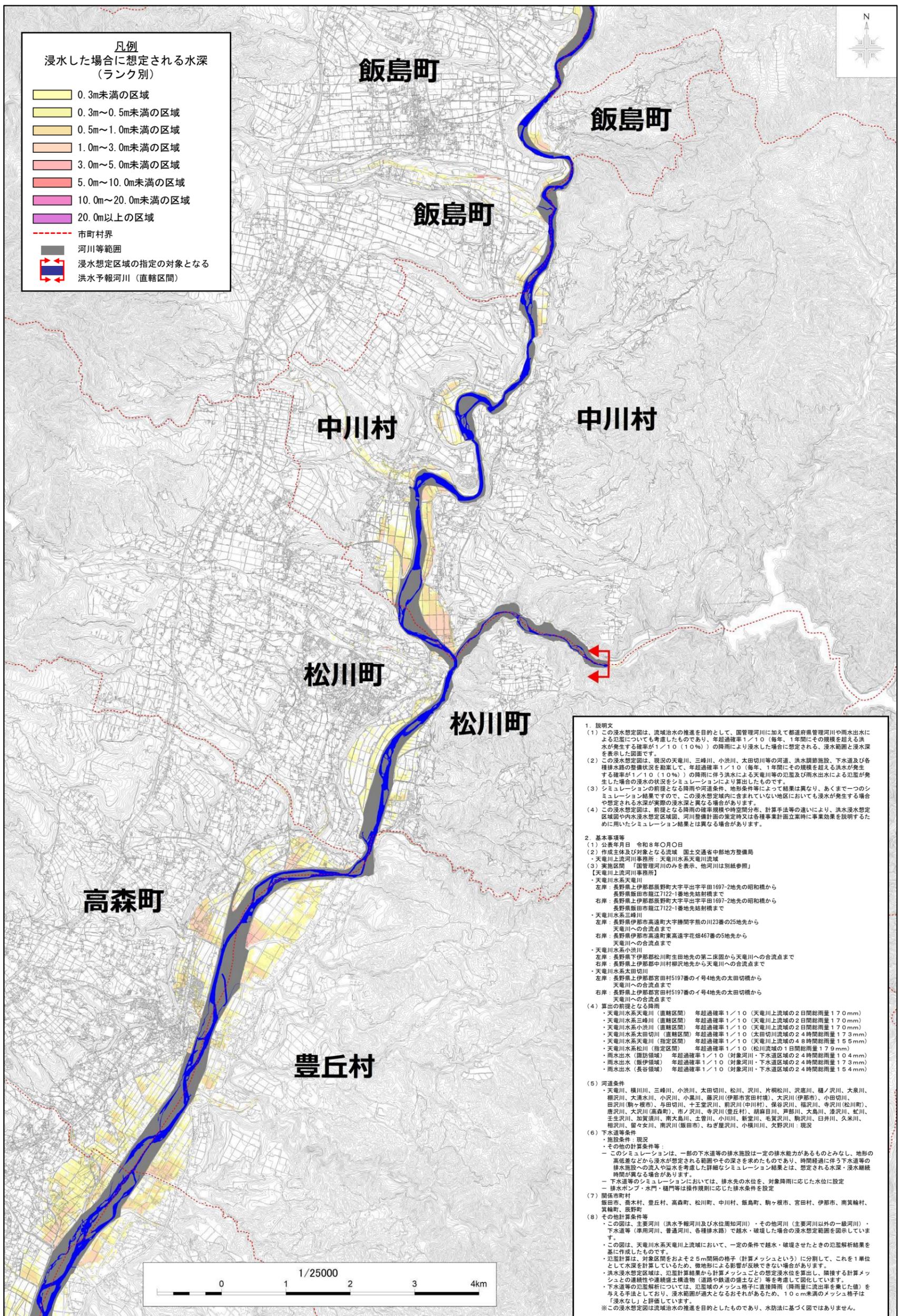
(7) 関係市町村  
 飯田市、豊田村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、飯野町

(8) その他計算条件等  
 ・この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一般河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。  
 ・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
 ・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ・洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続土工構築物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図示しています。  
 ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量×流出係数)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
 ※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7Jhs739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／10規模降雨）

## 【現況河道】 4分の3



**凡例**  
浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)

|                  |
|------------------|
| 0.3m未満の区域        |
| 0.3m~0.5m未満の区域   |
| 0.5m~1.0m未満の区域   |
| 1.0m~3.0m未満の区域   |
| 3.0m~5.0m未満の区域   |
| 5.0m~10.0m未満の区域  |
| 10.0m~20.0m未満の区域 |
| 20.0m以上の区域       |

--- 市町村界  
 河川等範囲  
 浸水想定区域の指定の対象となる  
 洪水予報河川（直轄区間）

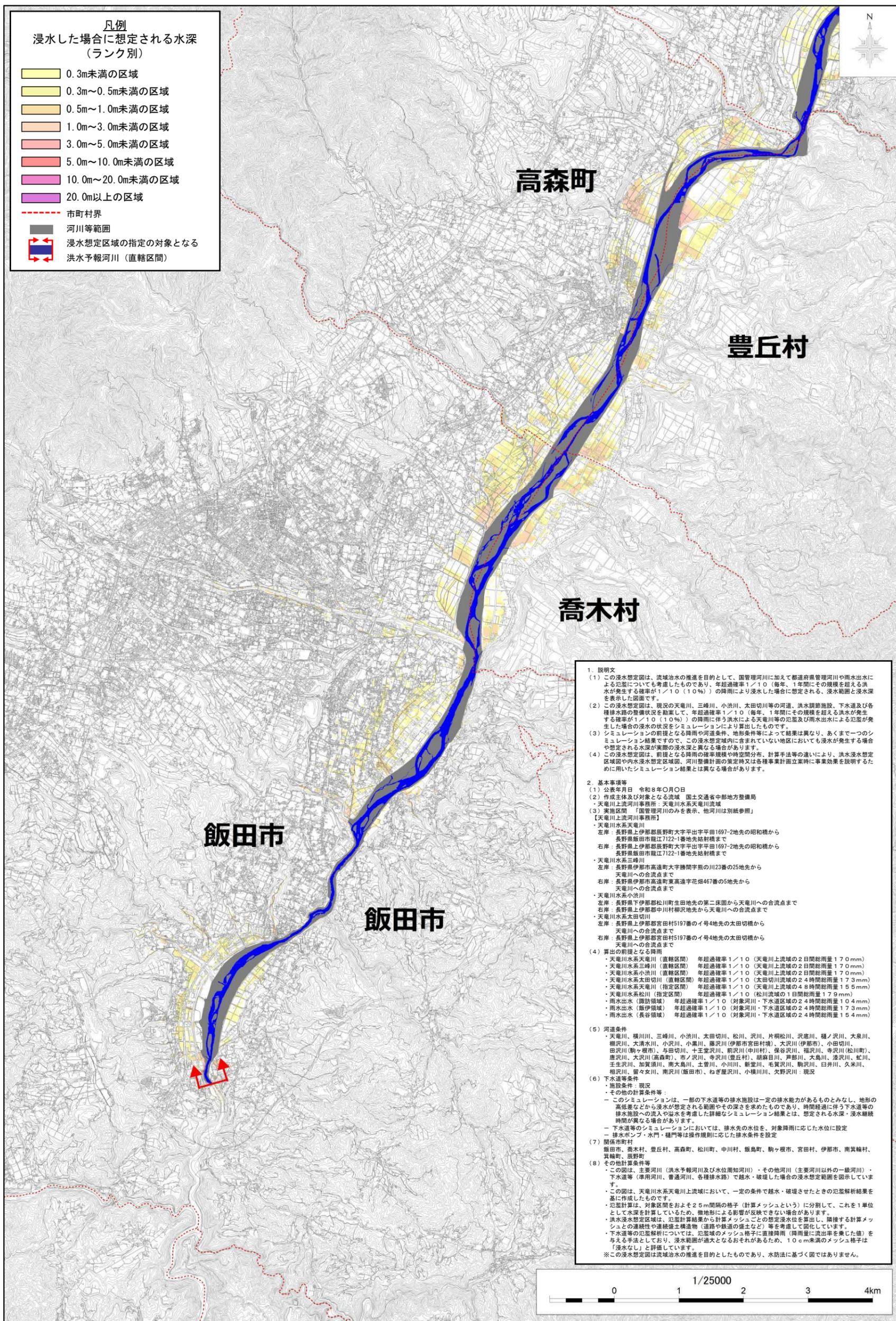
1. 説明文  
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。  
 (2) この浸水想定図は、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。  
 (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。  
 (4) この浸水想定図は、前提となる降雨の発生規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定図や洪水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等  
 (1) 公表年月日 令和8年0月0日  
 (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
 ・天竜川上流河川事務所 天竜川水系天竜川流域  
 (3) 実施区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
 【天竜川上流河川事務所】  
 ・天竜川水系天竜川  
 左岸：長野県上伊那郡飯島町大字早出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先結射橋まで  
 右岸：長野県上伊那郡飯島町大字早出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先結射橋まで  
 ・天竜川水系三峰川  
 左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字熊の川123番の25地先から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
 天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系小沢川  
 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二区画から天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系太田切川  
 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 (4) 算出の前提となる降雨  
 ・天竜川水系天竜川（直轄区間） 年超過確率1/10（天竜川上流域の2日間総雨量170mm）  
 ・天竜川水系小沢川（直轄区間） 年超過確率1/10（天竜川上流域の2日間総雨量170mm）  
 ・天竜川水系太田切川（直轄区間） 年超過確率1/10（太田切川流域の24時間総雨量173mm）  
 ・天竜川水系天竜川（指定区間） 年超過確率1/10（天竜川上流域の48時間総雨量155mm）  
 ・天竜川水系松川（指定区間） 年超過確率1/10（松川流域の1日間総雨量179mm）  
 ・雨水出水（諏訪領域） 年超過確率1/10（対象河川・下水道区域の24時間総雨量104mm）  
 ・雨水出水（飯伊領域） 年超過確率1/10（対象河川・下水道区域の24時間総雨量173mm）  
 ・雨水出水（飯谷領域） 年超過確率1/10（対象河川・下水道区域の24時間総雨量154mm）  
 (5) 河道条件  
 ・天竜川、横川川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢川川、樋ノ沢川、大泉川、柳沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川（伊那市宮田村境）、大沢川（伊那市）、小田切川、田沢川（駒ヶ根市）、与田切川、十五家沢川、前沢川（中川村）、保谷沢川、稲谷川、寺沢川（松川町）、鹿沢川、大沢川（高森町）、市ノ沢川、寺沢川（豊丘村）、胡麻目川、齊部川、大島川、津沢川、蛇川、壬生沢川、加賀沢川、南大島川、土管川、小川川、新宮川、毛賀沢川、駒沢川、日井川、久米川、相沢川、留々沢川、南沢川（飯田市）、おぎ屋沢川、小横川、穴野沢川：現況  
 (6) 下水道条件  
 ・施設条件：現況  
 ・その他の計算条件等：  
 - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定  
 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定  
 (7) 関係市町村  
 飯田市、高森町、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町  
 (8) その他計算条件等  
 ・この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一級河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破綻した場合の浸水想定範囲を図示しています。  
 ・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破綻させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
 ・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ・洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図面化しています。  
 ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
 ※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

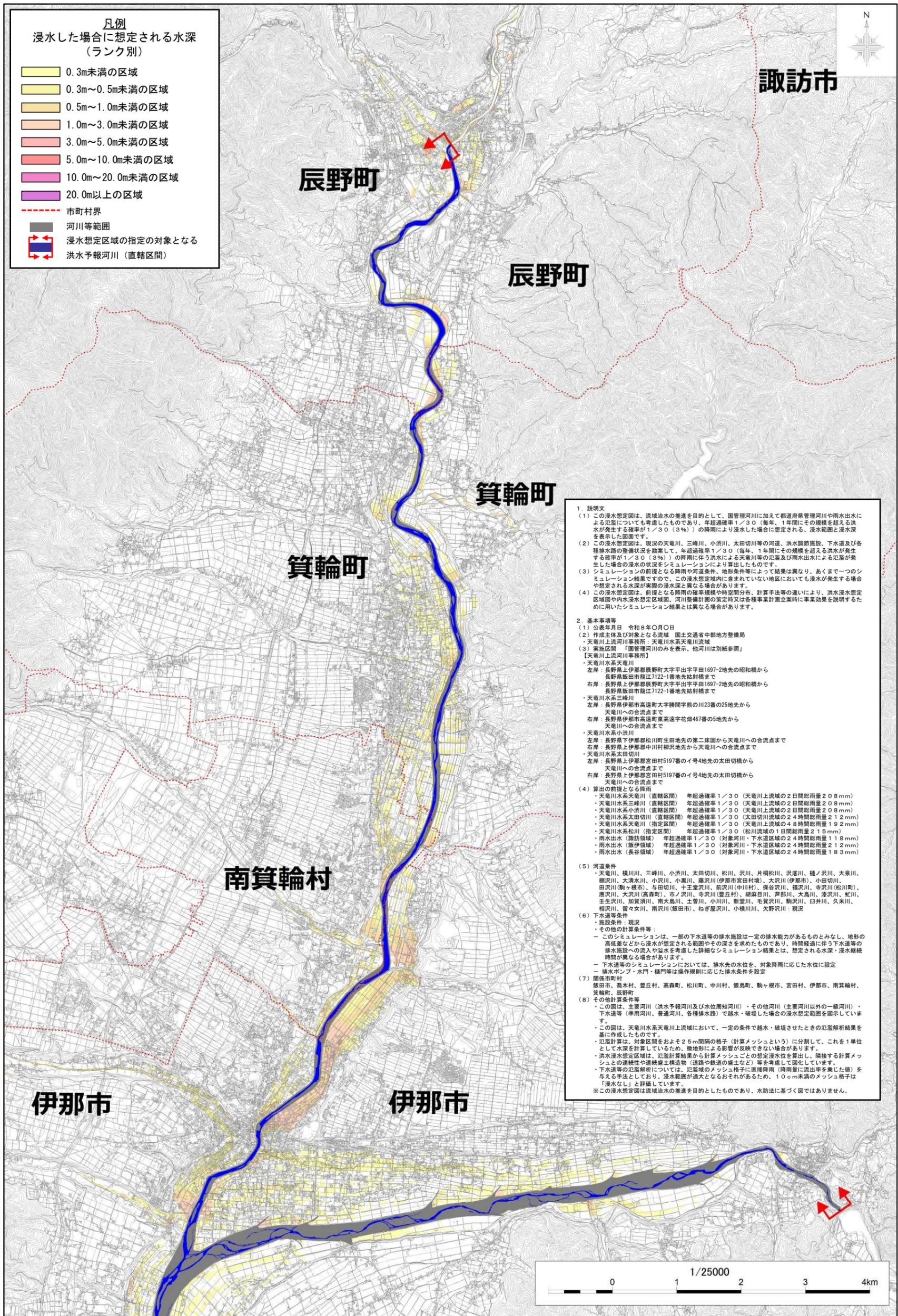
# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／10規模降雨）

## 【現況河道】 4分の4



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／30規模降雨） 【現況河道】 4分の1

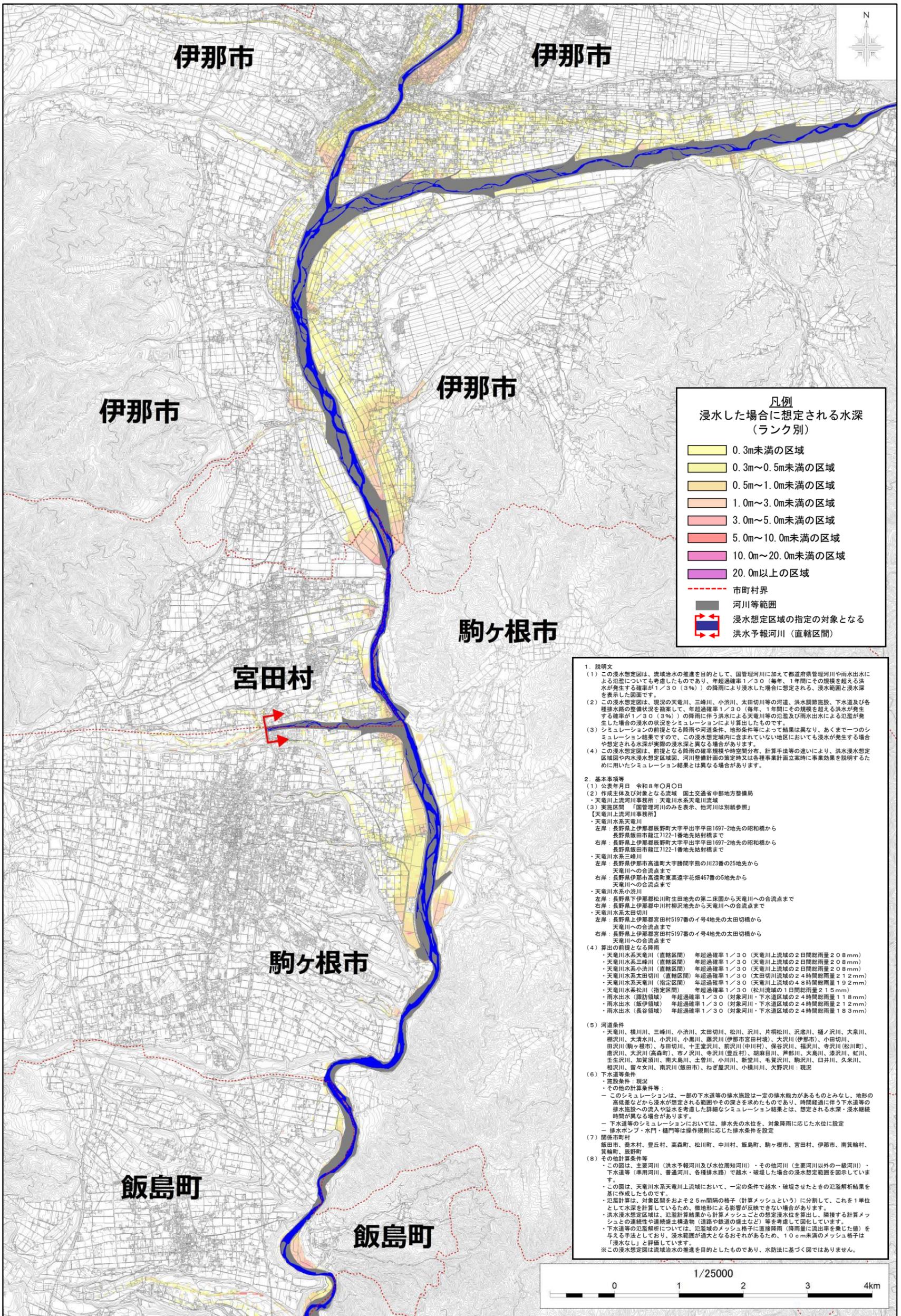


- 凡例**  
浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)
- 0.3m未満の区域
  - 0.3m～0.5m未満の区域
  - 0.5m～1.0m未満の区域
  - 1.0m～3.0m未満の区域
  - 3.0m～5.0m未満の区域
  - 5.0m～10.0m未満の区域
  - 10.0m～20.0m未満の区域
  - 20.0m以上の区域
  - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川(直轄区間)

- 1. 説明文**
- (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
  - (2) この浸水想定図は、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況(シミュレーション)により算出したものです。
  - (3) 実施区域、管理河川のみを表示し、他河川は別紙参照【天竜川上流河川事務所】
  - (4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- 2. 基本事項等**
- (1) 公表年月日 令和8年〇月〇日
  - (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局
  - (3) 天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域
  - (4) 実施区域、管理河川のみを表示し、他河川は別紙参照【天竜川上流河川事務所】
  - (5) 天竜川水系天竜川
    - 左岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
    - 右岸：長野県辰野市龍江7122-1番地先給排水施設まで
  - (6) 天竜川水系三峰川
    - 左岸：長野県伊那市高遠町大字膳間字龍の川23番の25地先から
    - 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑4番の5地先から
  - (7) 天竜川水系小沢川
    - 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二公園から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
  - (8) 天竜川水系太田切川
    - 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から
    - 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から
- 3. 算出の前提となる降雨**
- 天竜川水系天竜川(直轄区間) 年超過確率1/30(天竜川上流域の2日間総雨量208mm)
  - 天竜川水系三峰川(直轄区間) 年超過確率1/30(天竜川上流域の2日間総雨量208mm)
  - 天竜川水系小沢川(直轄区間) 年超過確率1/30(天竜川上流域の2日間総雨量208mm)
  - 天竜川水系太田切川(直轄区間) 年超過確率1/30(太田切川流域の24時間総雨量212mm)
  - 天竜川水系天竜川(指定区間) 年超過確率1/30(天竜川上流域の48時間総雨量192mm)
  - 天竜川水系松川(指定区間) 年超過確率1/30(松川流域の1日間総雨量215mm)
  - 雨水出水(諏訪領域) 年超過確率1/30(対象河川・下水道区域の24時間総雨量118mm)
  - 雨水出水(飯伊領域) 年超過確率1/30(対象河川・下水道区域の24時間総雨量212mm)
  - 雨水出水(長谷領域) 年超過確率1/30(対象河川・下水道区域の24時間総雨量183mm)
- 4. 河道条件**
- 天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢底川、樋ノ沢川、大泉川、柳沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、与田切川、十王堂沢川、前沢川(中川村)、保谷沢川、稲沢川、寺沢川(松川町)、藤沢川、大沢川(高森町)、市ノ沢川、寺沢川(豊丘村)、胡麻目川、戸部川、大島川、津沢川、蛇川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、白井川、久米川、柳沢川、龍ヶ谷川、南沢川(飯田市)、おぎ原沢川、小横川川、文野沢川：現況
- 5. 下水道等条件**
- 施設条件：現況
  - その他の計算条件等：
    - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水等を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
    - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定し、排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定
- 6. 関係市町村**
- 飯田市、豊木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町
- 7. その他計算条件等**
- この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。
  - この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。
  - 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
  - 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。
  - 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)をおよそ1分単位としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。
- ※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

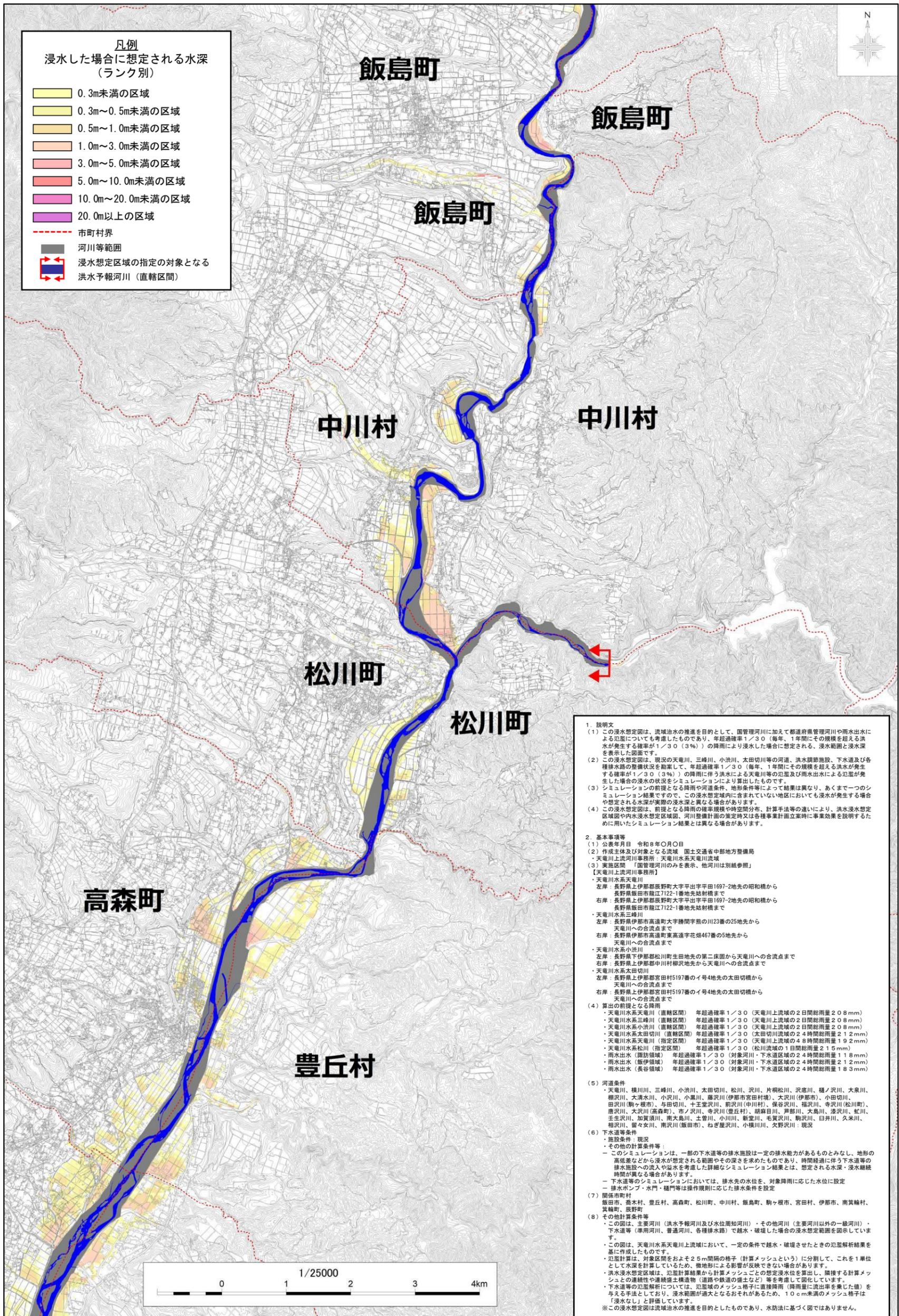
# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／30規模降雨） 【現況河道】 4分の2



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7Jhs739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／30規模降雨）

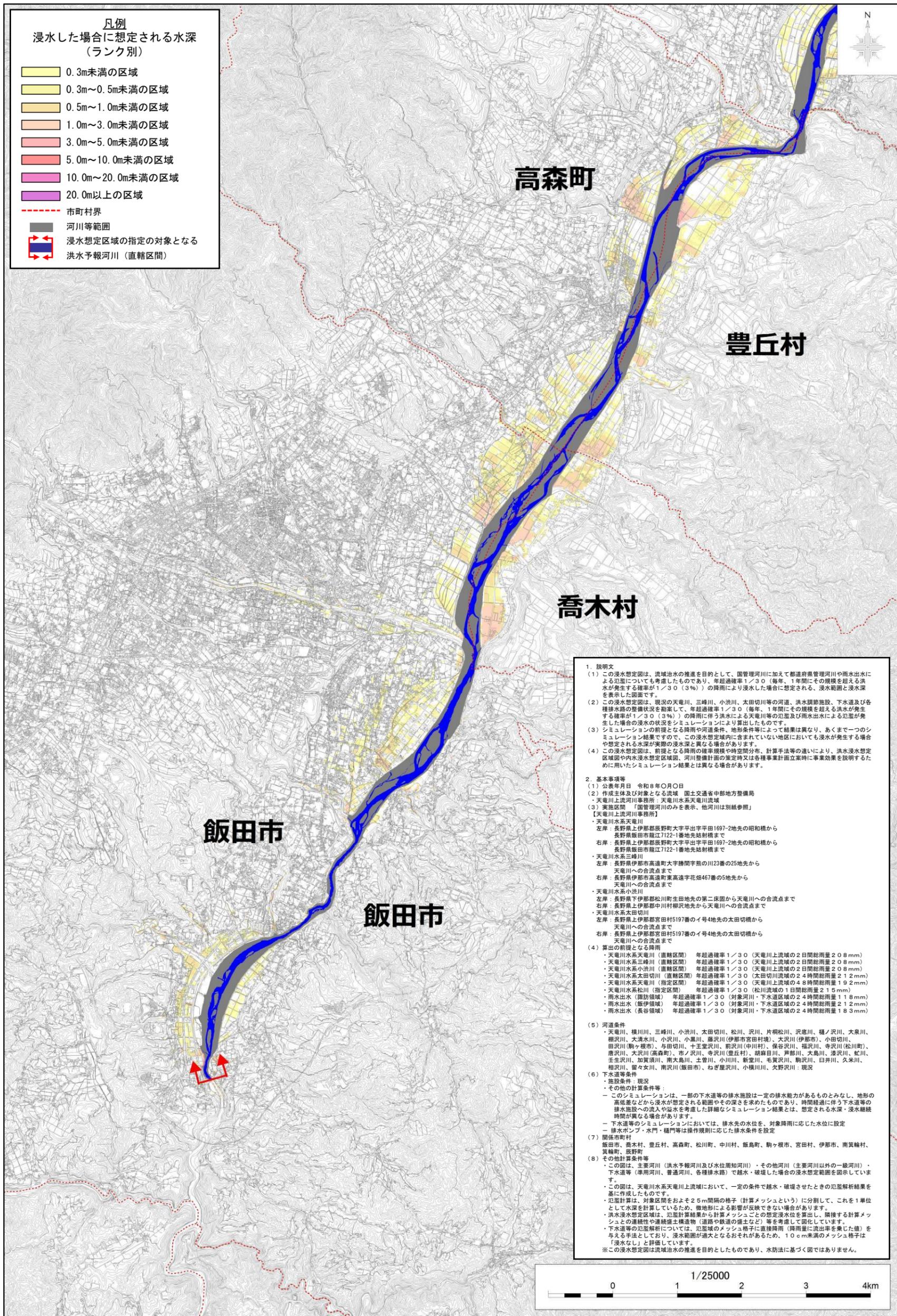
## 【現況河道】 4分の3



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／30規模降雨）

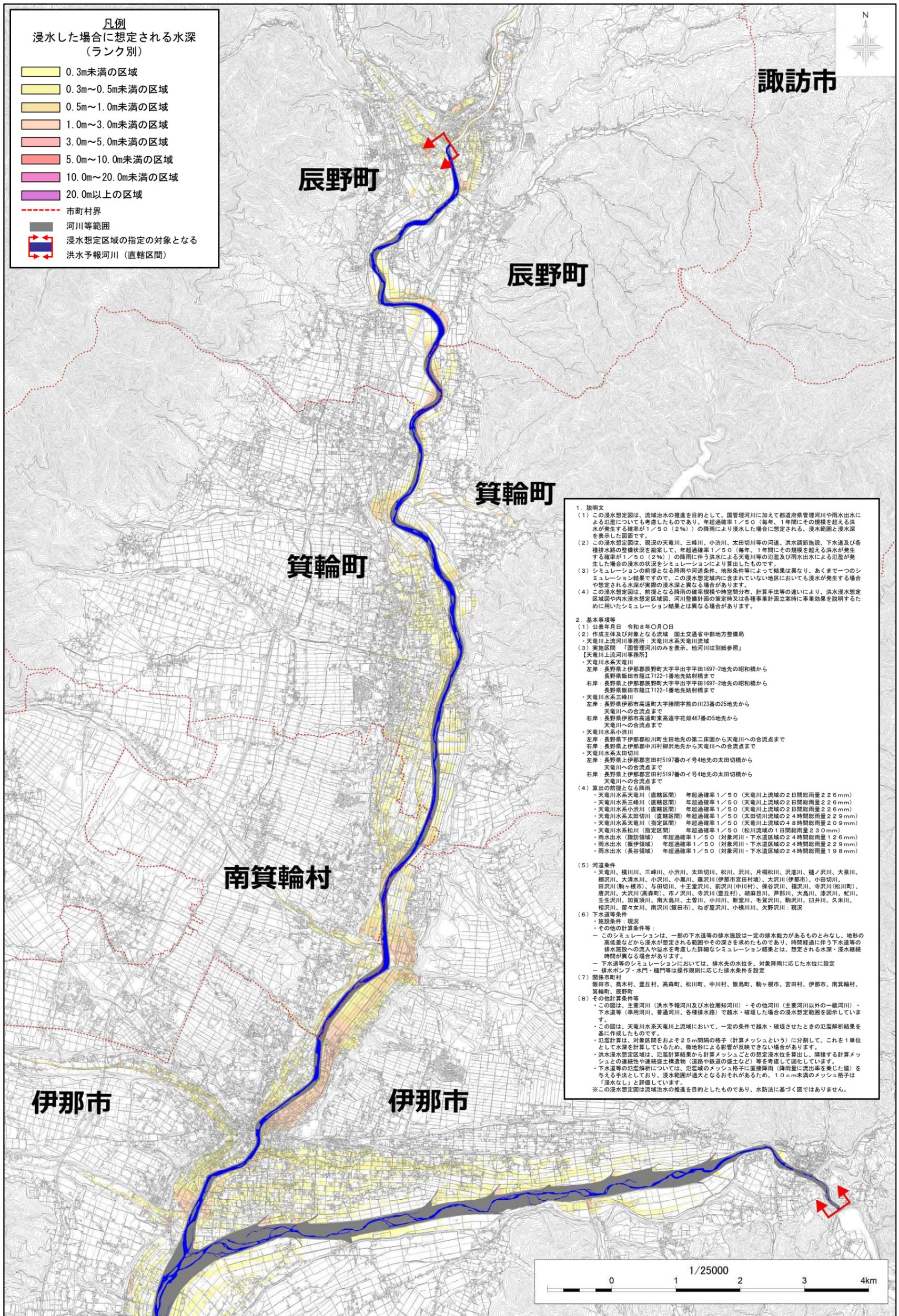
## 【現況河道】 4分の4



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／50規模降雨）

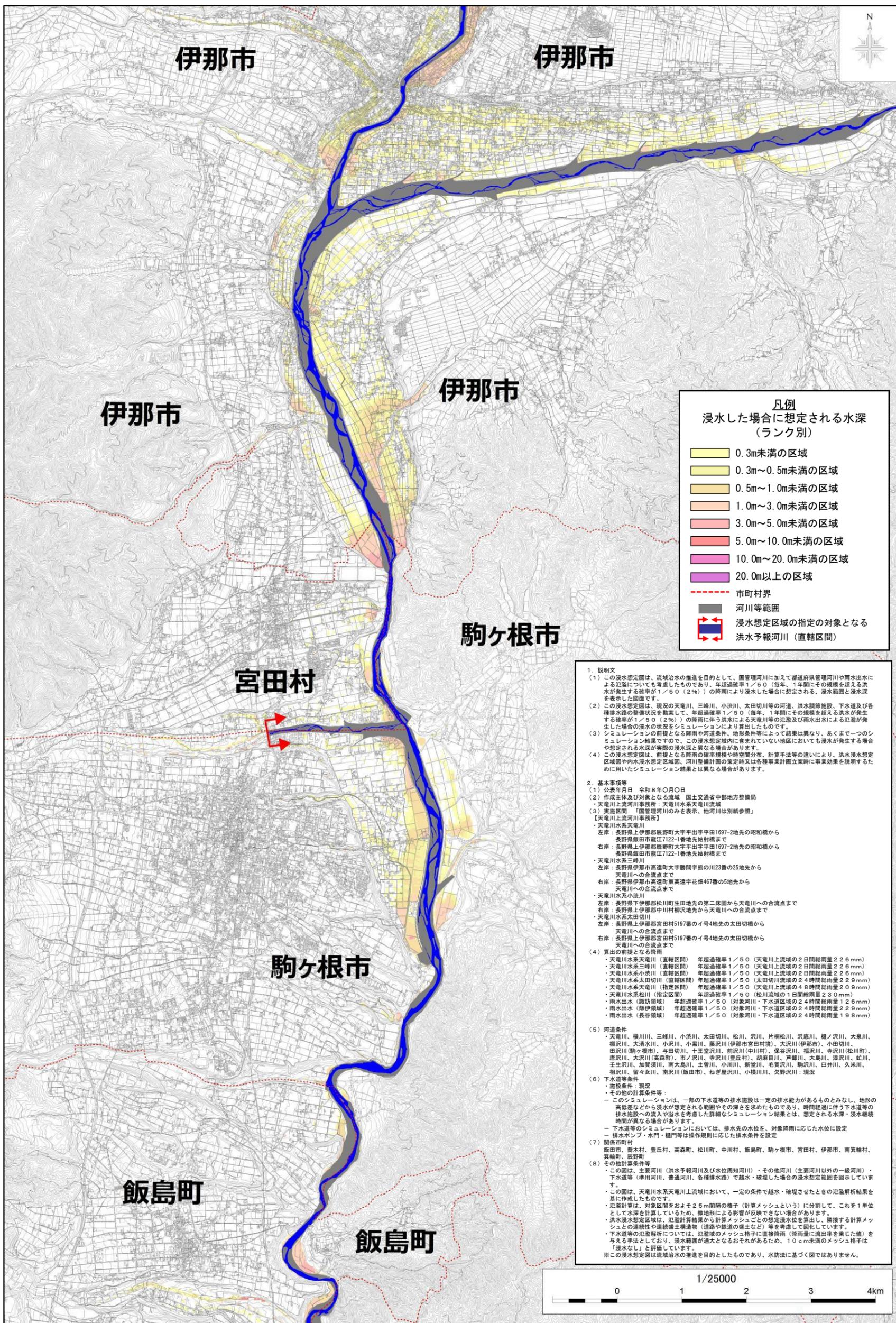
## 【現況河道】 4分の1



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／50規模降雨）

## 【現況河道】 4分の2



**凡例**  
浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)

|                  |
|------------------|
| 0.3m未満の区域        |
| 0.3m~0.5m未満の区域   |
| 0.5m~1.0m未満の区域   |
| 1.0m~3.0m未満の区域   |
| 3.0m~5.0m未満の区域   |
| 5.0m~10.0m未満の区域  |
| 10.0m~20.0m未満の区域 |
| 20.0m以上の区域       |

--- 市町村界  
 河川等範囲  
 浸水想定区域の指定の対象となる  
 洪水予報河川(直轄区間)

1. 説明文  
 (1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による浸水についても考慮したものであり、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。  
 (2) この浸水想定図は、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による浸水が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。  
 (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。  
 (4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定図や雨水浸水想定図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等  
 (1) 公表年月日 令和8年0月0日  
 (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
 ・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域  
 (3) 実地区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
 【天竜川上流河川事務所】  
 ・天竜川水系天竜川  
 左岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水橋まで  
 右岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
 長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水橋まで  
 ・天竜川水系三峰川  
 左岸：長野県伊那市高遠町大字膳間字熊の川1123番の25地先から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
 天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系小沢川  
 左岸：長野県上伊那郡松川町生田地先の第二床間から天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系太田切川  
 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 (4) 算出の前提となる降雨  
 ・天竜川水系天竜川(直轄区間) 年超過確率1/50(天竜川上流域の2日間総雨量226mm)  
 ・天竜川水系小沢川(直轄区間) 年超過確率1/50(天竜川上流域の2日間総雨量226mm)  
 ・天竜川水系太田切川(直轄区間) 年超過確率1/50(太田切川流域の24時間総雨量229mm)  
 ・天竜川水系天竜川(指定区間) 年超過確率1/50(天竜川上流域の48時間総雨量209mm)  
 ・天竜川水系松川(指定区間) 年超過確率1/50(松川流域の1日間総雨量230mm)  
 ・雨水出水(諏訪領域) 年超過確率1/50(対象河川・下水道区域の24時間総雨量126mm)  
 ・雨水出水(飯伊領域) 年超過確率1/50(対象河川・下水道区域の24時間総雨量229mm)  
 ・雨水出水(長谷領域) 年超過確率1/50(対象河川・下水道区域の24時間総雨量198mm)

(5) 河道条件  
 ・天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢底川、樋ノ沢川、大泉川、棚沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、与田切川、十王堂沢川、前沢川(中川村)、袋谷沢川、福沢川、寺沢川(松川町)、鹿沢川、大沢川(高森町)、市ノ沢川、寺沢川(登丘村)、柳原目川、新部川、大島川、漆沢川、松川、生沢川、加賀沢川、新大島川、本宮川、小川川、新宮川、杉沢川、白井川、久米川、相沢川、留々女川、南沢川(飯田市)、おぎ屋沢川、小横川川、矢野沢川：現況

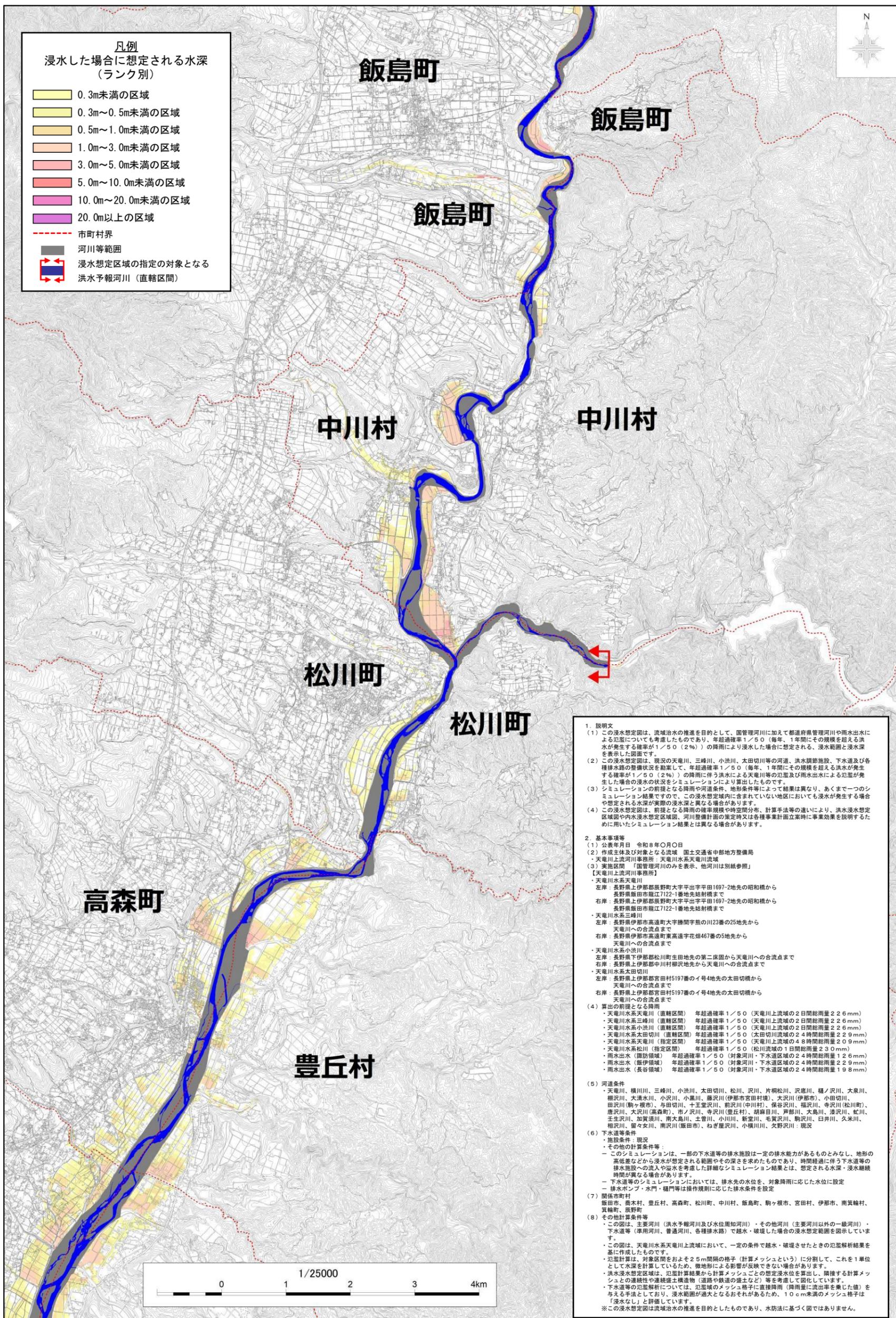
(6) 下水道等条件  
 ・施設条件：現況  
 ・その他の計算条件等：  
 - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低下などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村  
 飯田市、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町  
 (8) その他計算条件等  
 ・この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一般河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を図示しています。  
 ・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
 ・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ・洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続堤土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図示しています。  
 ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量流出を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
 ※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 7Jhs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／50規模降雨）

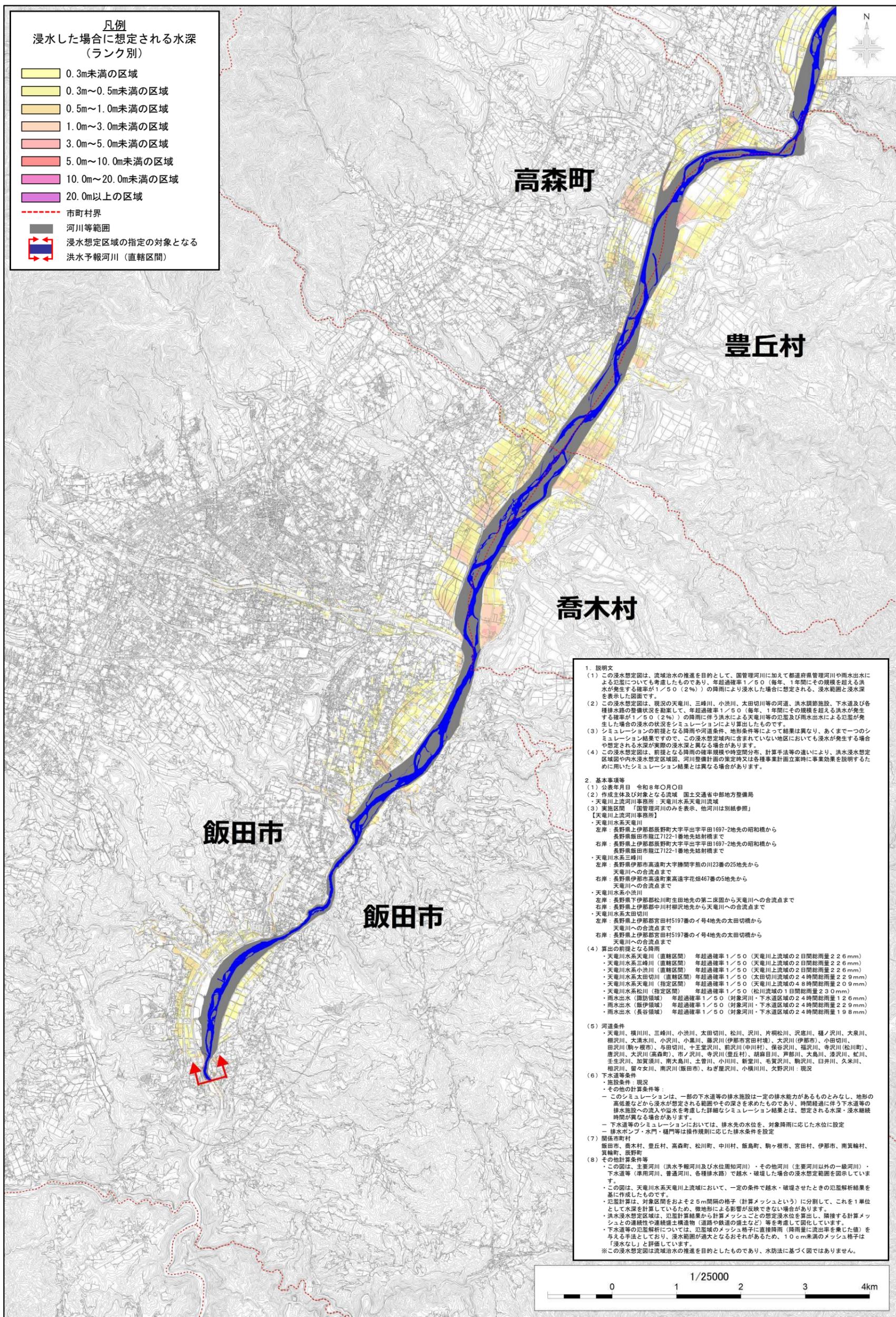
## 【現況河道】 4分の3



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

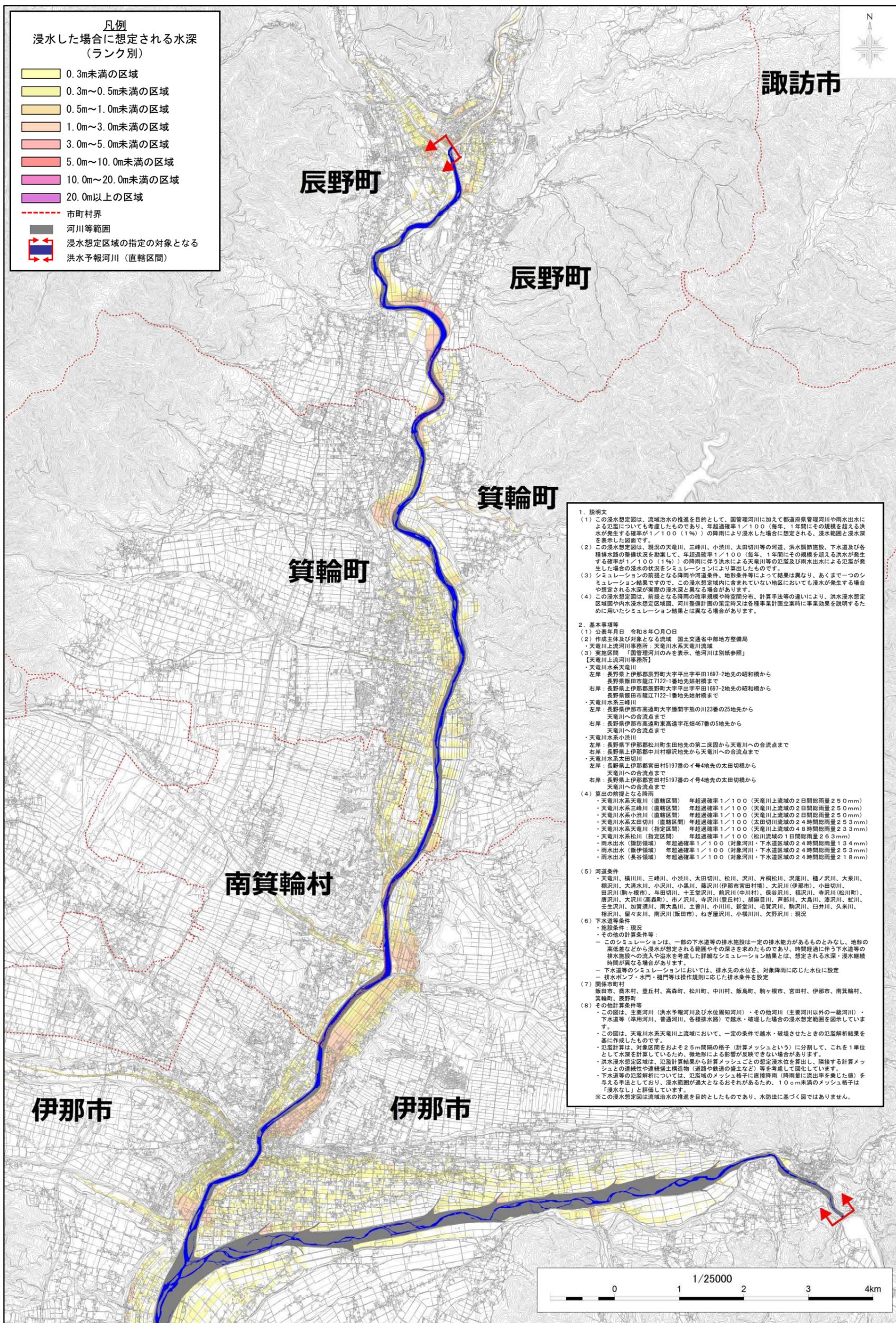
# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／50規模降雨）

## 【現況河道】 4分の4



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

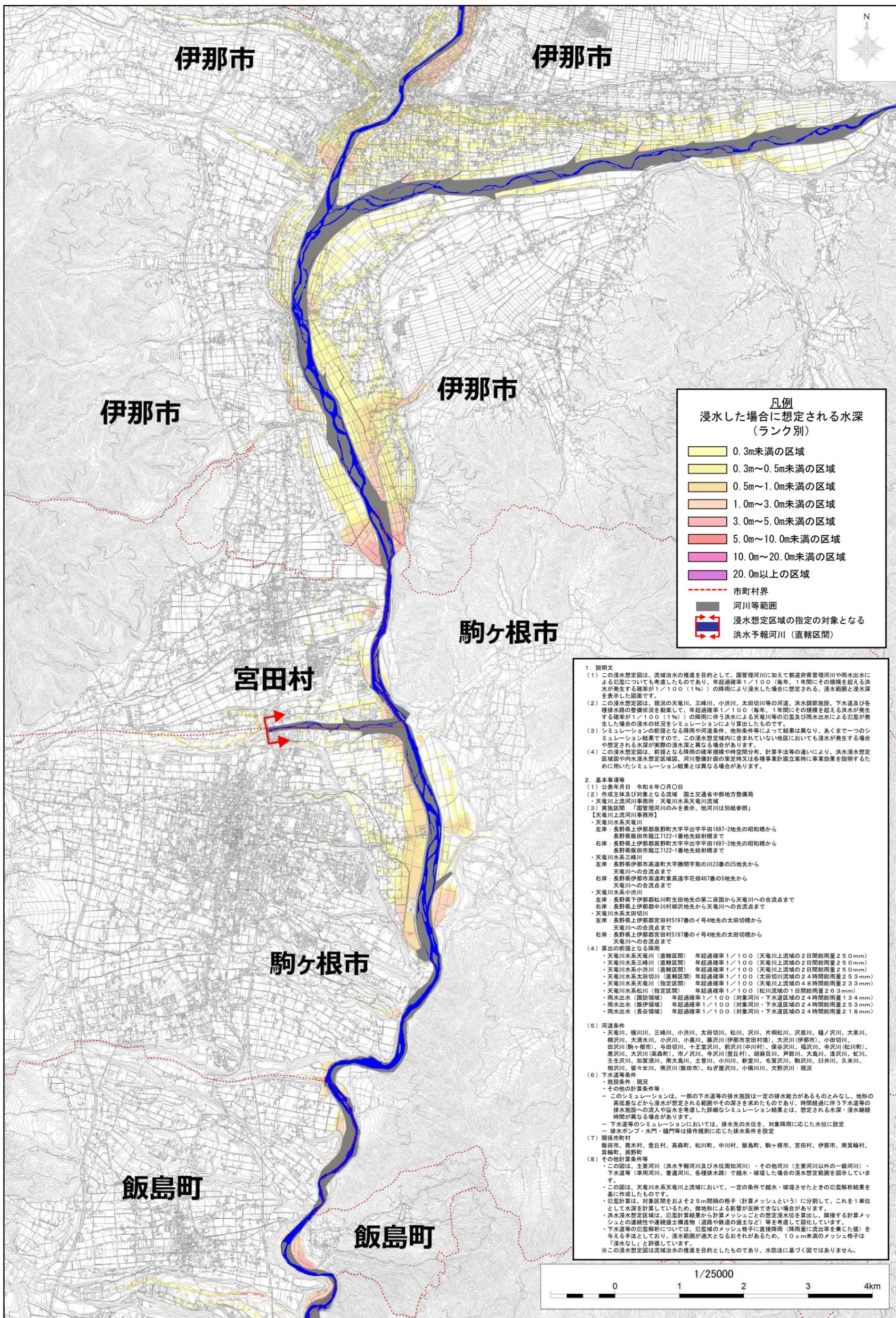
# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1/100規模降雨） 【現況河道】 4分の1



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1/100規模降雨）

## 【現況河道】 4分の2



**凡例**  
浸水した場合に想定される水深  
(ランク別)

- 0.3m未満の区域
- 0.3m~0.5m未満の区域
- 0.5m~1.0m未満の区域
- 1.0m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川(直轄区間)

1. 説明文  
(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。  
(2) この浸水想定図は、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。  
(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。  
(4) この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や内水浸水想定区域、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等  
(1) 公表年月日 令和8年0月0日  
(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域  
(3) 実地区間【国管理河川のみを示し、他河川は別紙参照】  
【天竜川上流河川事務所】  
・天竜川水系天竜川  
左岸：長野県上伊那郡飯野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋まで  
右岸：長野県上伊那郡飯野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋まで  
・天竜川水系三峰川  
左岸：長野県伊那市高遠町大字膳間字熊の川1123番の25地先から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
・天竜川水系小沢川  
左岸：長野県上伊那郡松川町生田地先の第二区間から天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
・天竜川水系太田切川  
左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで  
(4) 算出の前提となる降雨  
・天竜川水系天竜川(直轄区間) 年超過確率1/100(天竜川上流域の2日間総雨量250mm)  
・天竜川水系三峰川(直轄区間) 年超過確率1/100(天竜川上流域の2日間総雨量250mm)  
・天竜川水系小沢川(直轄区間) 年超過確率1/100(天竜川上流域の2日間総雨量250mm)  
・天竜川水系太田切川(直轄区間) 年超過確率1/100(太田切川流域の24時間総雨量253mm)  
・天竜川水系天竜川(指定区間) 年超過確率1/100(天竜川上流域の48時間総雨量233mm)  
・天竜川水系松川(指定区間) 年超過確率1/100(松川流域の1日間総雨量263mm)  
・雨水出水(諏訪領域) 年超過確率1/100(対象河川・下水道区域の24時間総雨量134mm)  
・雨水出水(飯伊領域) 年超過確率1/100(対象河川・下水道区域の24時間総雨量253mm)  
・雨水出水(長谷領域) 年超過確率1/100(対象河川・下水道区域の24時間総雨量218mm)

(5) 河道条件  
・天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢底川、樋ノ沢川、大泉川、棚沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、与田切川、十王堂沢川、前沢川(中川村)、保谷沢川、福沢川、寺沢川(松川町)、鹿沢川、大沢川(飯伊町)、市ノ沢川、寺沢川(登五村)、柳原目川、新部川、大島川、漆沢川、松川、生沢川、加賀沢川、新大島川、本宮川、小川川、新宮川、杉沢川、白井川、久米川、相沢川、留々女川、南沢川(飯田市)、おぎ屋沢川、小横川川、矢野沢川：現況

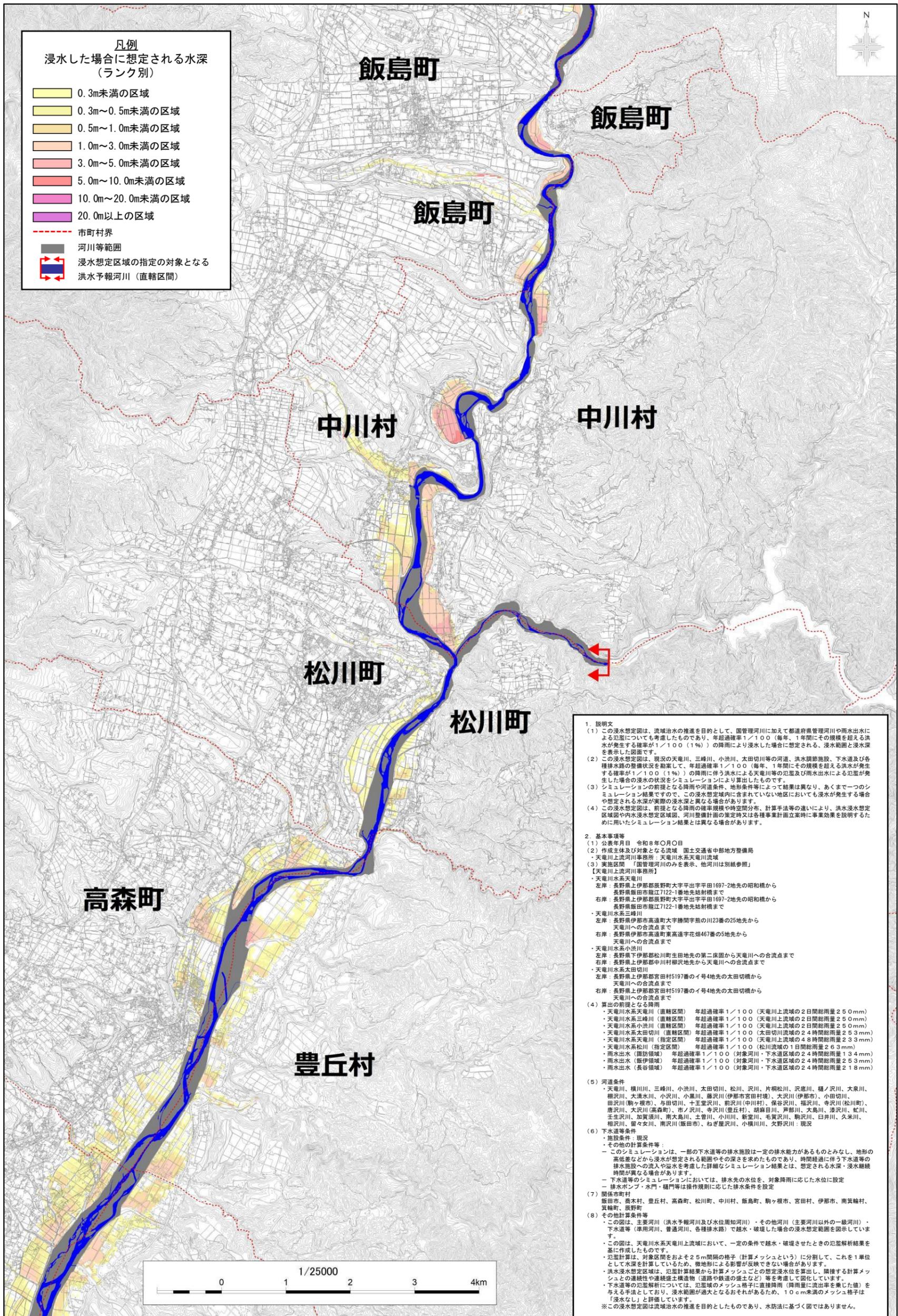
(6) 下水道等条件  
・施設条件：現況  
・その他の計算条件等：  
- このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低下などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村  
飯田市、豊田村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、飯野町  
(8) その他の計算条件等  
・この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一般河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。  
・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
・洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続性構造物(道路や鉄道の橋など)等を考慮して図示しています。  
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量流出量集計値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7Jhs739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1／100規模降雨）

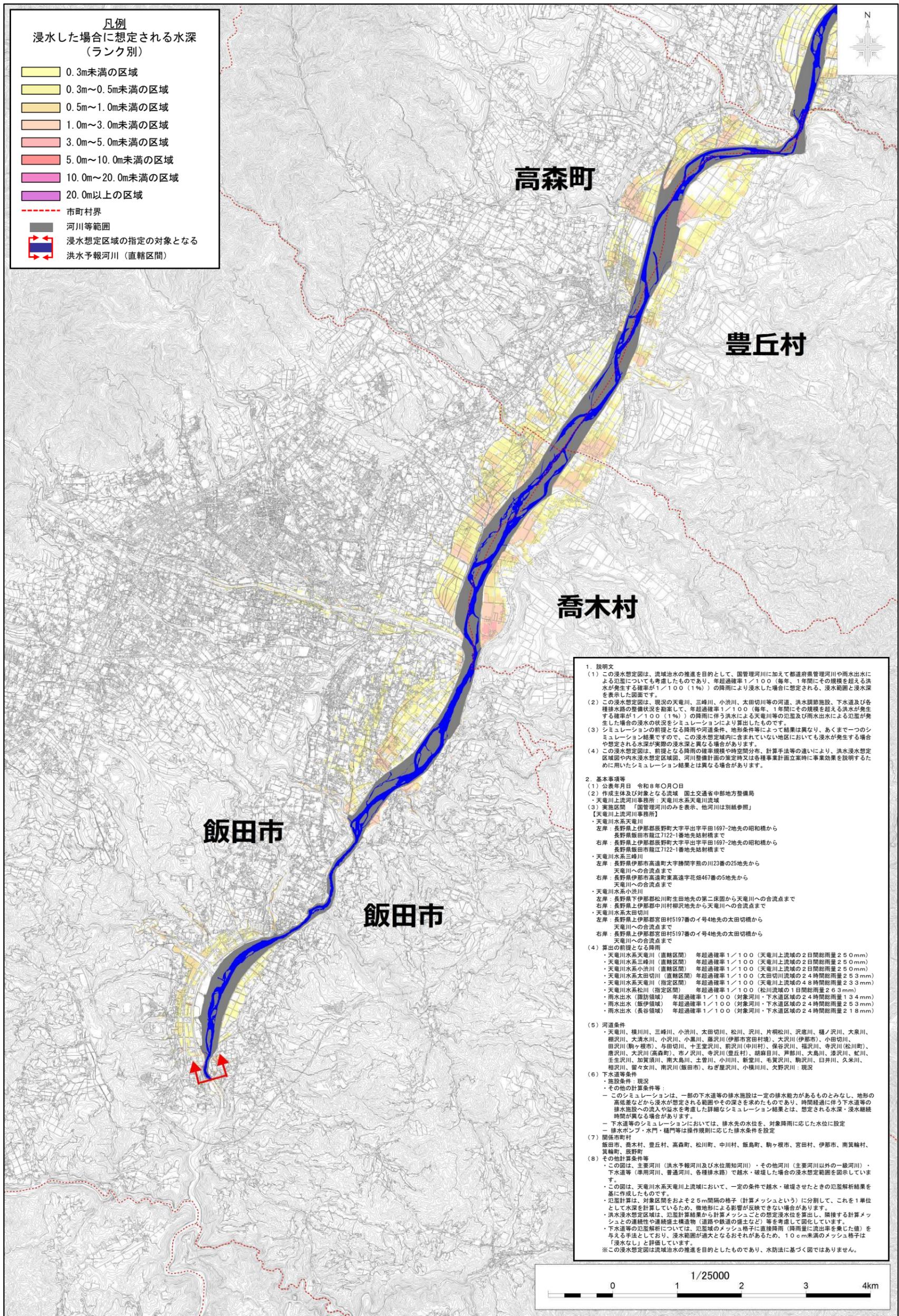
## 【現況河道】 4分の3



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

# 天竜川水系 内外水統合の浸水想定図（1/100規模降雨）

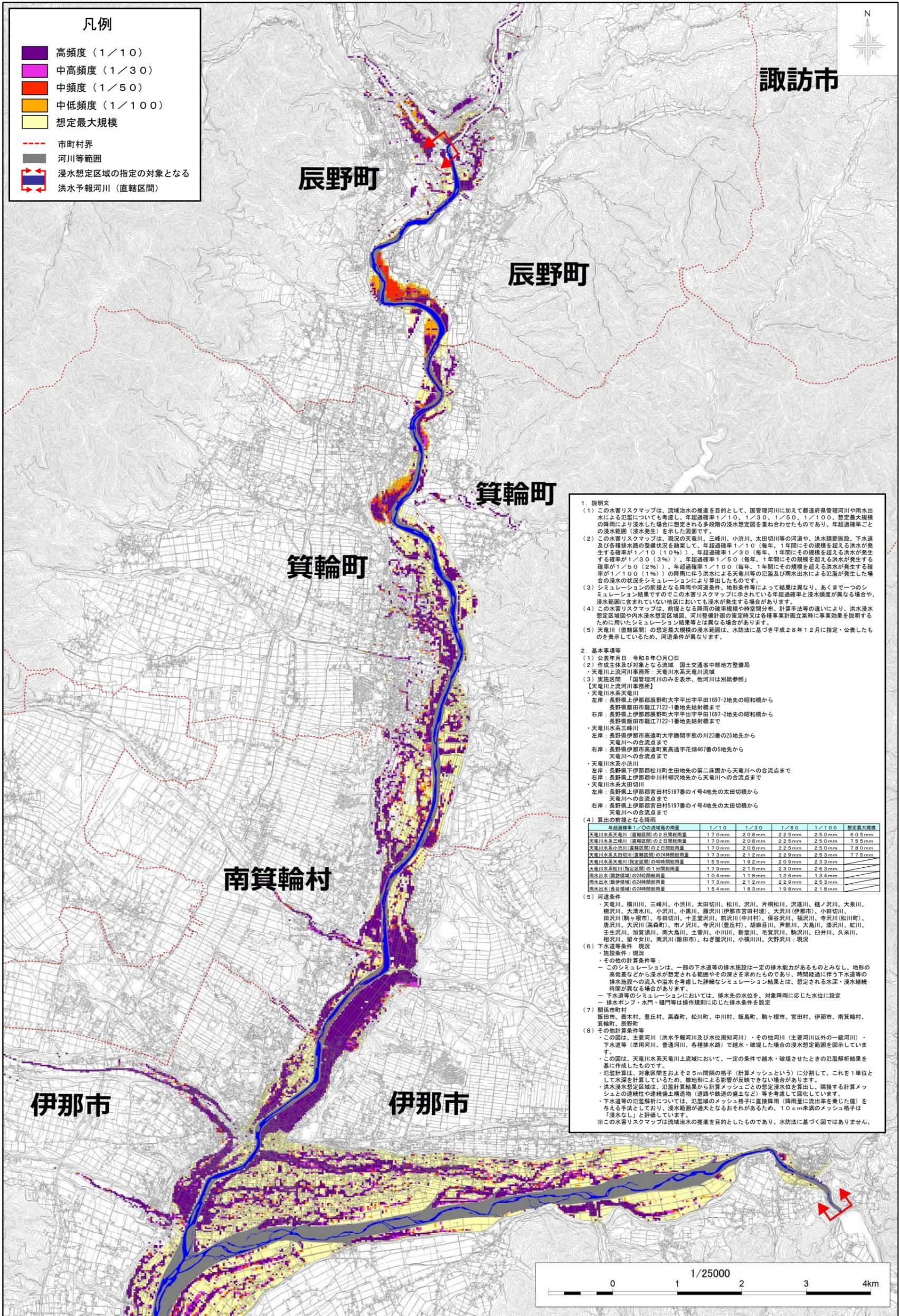
## 【現況河道】 4分の4



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ 【現況河道】 4分の1

浸水が想定される範囲を表示



- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 想定最大規模
  - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川(直轄区間)

**1. 説明文**

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
- (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
- (5) 天竜川(直轄区間)の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

**2. 基本事項等**

- (1) 公表年月日 令和8年〇月〇日
- (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
天竜川上流河川事務所:天竜川水系天竜川流域
- (3) 実施期間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
【天竜川上流河川事務所】  
天竜川水系天竜川  
左岸:長野県伊那郡辰野町大字平守平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水まで  
右岸:長野県伊那郡辰野町大字平守平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水まで  
天竜川水系三峰川  
左岸:長野県伊那郡高遠町大字橋間字龍の川23番の25地先から  
天竜川への合流点まで  
右岸:長野県伊那郡高遠町高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
天竜川水系小沢川  
左岸:長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床間から天竜川への合流点まで  
右岸:長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
天竜川水系太田切川  
左岸:長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで  
右岸:長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで

**(4) 算出の前提となる降雨**

| 年超過確率1/〇〇の流域毎の雨量         | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川(直轄区間)の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 60.5mm |
| 天竜川水系三峰川(直轄区間)の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 75.5mm |
| 天竜川水系小沢川(直轄区間)の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 78.0mm |
| 天竜川水系太田切川(直轄区間)の24時間の総雨量 | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 77.5mm |
| 天竜川水系天竜川(指定区間)の48時間の総雨量  | 15.5mm | 19.2mm | 20.9mm | 23.3mm | 23.3mm |
| 天竜川水系松川(指定区間)の1日間の総雨量    | 17.9mm | 21.5mm | 23.0mm | 26.3mm | —      |
| 国土地理院指定区域の24時間の総雨量       | 10.4mm | 11.8mm | 12.8mm | 13.4mm | —      |
| 雨水出水(飯伊橋域)の24時間の総雨量      | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | —      |
| 雨水出水(長谷橋域)の24時間の総雨量      | 15.4mm | 18.3mm | 19.8mm | 21.8mm | —      |

**(5) 河道条件**

- 天竜川、横川川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢渡川、穂ノ沢川、大泉川、藤沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(飯伊橋域)、野田切川、十五重沢川、新沢川(中川村)、保谷沢川、福沢川、寺沢川(松川町)、唐沢川、大沢川(高森町)、西ノ沢川、寄沢川(飯伊橋域)、飯島川、大島川、渡沢川、虹川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、臼井川、久米川、相沢川、留々女川、南沢川(飯田市)、ねぎ屋沢川、小横川川、欠野沢川:現況

**(6) 下水道等条件** 現況

- 施設条件:現況
- その他の計算条件等
  - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
  - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定  
排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

**(7) 関係市町村**  
飯田市、善木村、豊丘町、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町

**(8) その他計算条件等**

- この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。
- この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。
- 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や建屋・橋脚・鉄道(浸水など)等を考慮して図面化しています。
- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に浸出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。

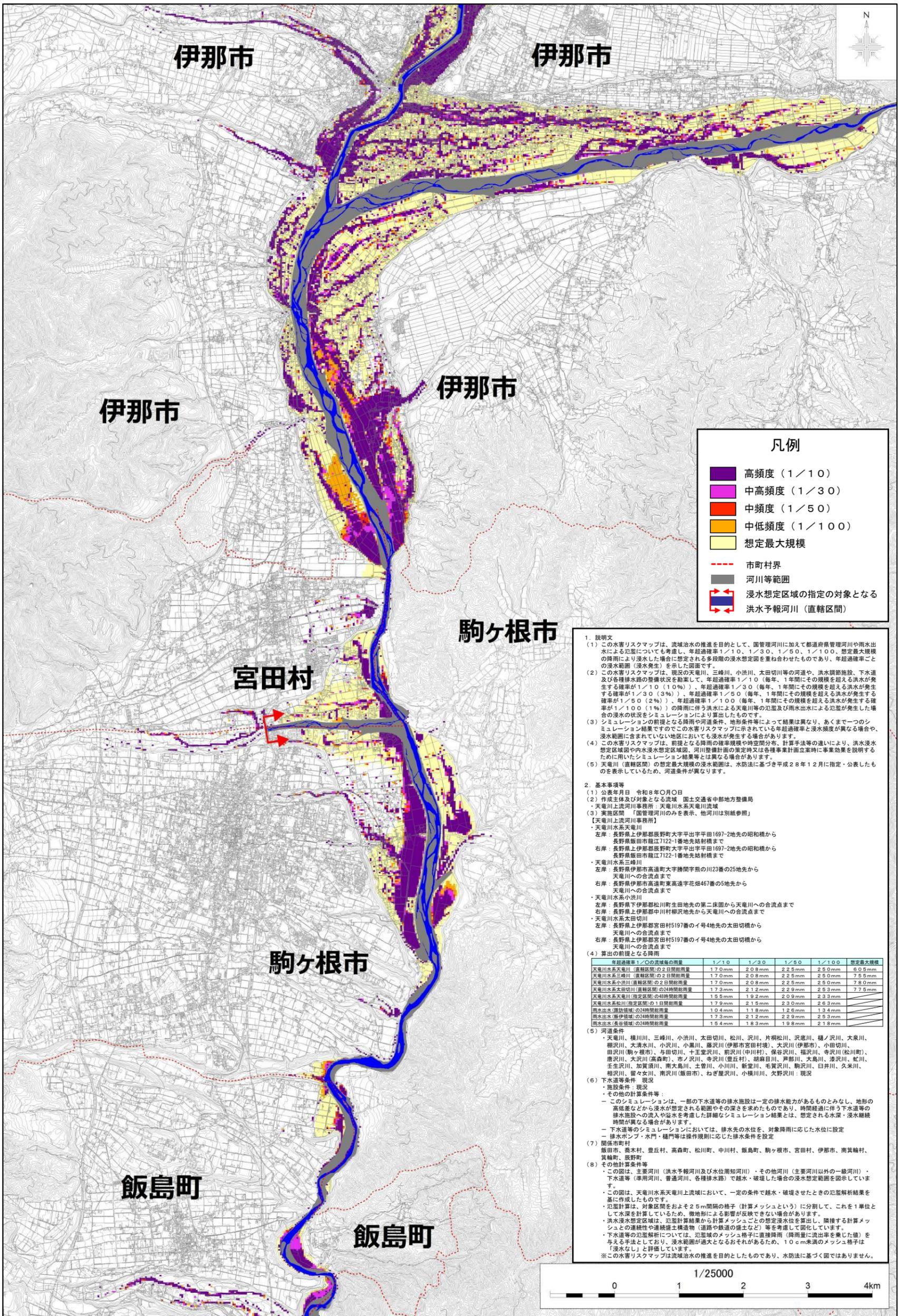
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の2

浸水が想定される範囲を表示



### 凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川(直轄区間)

1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
- (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や内水浸水想定区域、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
- (5) 天竜川(直轄区間)の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和6年0月0日
- (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
・天竜川上流河川事務所: 天竜川水系天竜川流域
- (3) 実施区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
【天竜川上流河川事務所】  
・天竜川水系天竜川  
左岸: 長野県伊那郡飯野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
右岸: 長野県飯田市龍江7122-1番地先姑射橋まで  
・天竜川水系三峰川  
左岸: 長野県伊那市高遠町大字勝間字熊の川23番の25地先から  
右岸: 長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
・天竜川水系小沢川  
左岸: 長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床園から天竜川への合流点まで  
右岸: 長野県伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
・天竜川水系太田切川  
左岸: 天竜川への合流点まで  
右岸: 長野県上伊那郡宮田5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

| 年超過確率1/100の流域毎の雨量       | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川(直轄区間)の2日総雨量    | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 40.0mm |
| 天竜川水系三峰川(直轄区間)の2日総雨量    | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 75.5mm |
| 天竜川水系小沢川(直轄区間)の2日総雨量    | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 78.0mm |
| 天竜川水系太田切川(直轄区間)の24時間総雨量 | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 77.5mm |
| 天竜川水系天竜川(指定区間)の48時間総雨量  | 15.5mm | 19.2mm | 20.9mm | 23.3mm |        |
| 天竜川水系松川(指定区間)の1日総雨量     | 17.9mm | 21.5mm | 23.0mm | 26.3mm |        |
| 高谷川(飯伊流域)の24時間総雨量       | 19.4mm | 13.8mm | 12.6mm | 13.4mm |        |
| 雨水出水(飯伊流域)の24時間総雨量      | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm |        |
| 雨水出水(飯谷流域)の24時間総雨量      | 15.4mm | 18.3mm | 19.8mm | 21.8mm |        |

(5) 河道条件

- ・天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢鹿川、樋ノ沢川、大泉川、鶴沢川、大清水川、小沢川、小瀬川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、与田切川、七宝堂沢川、新沢川(中川村)、飯谷川、新沢川、専沢川(松川町)、鹿沢川、大沢川(高森町)、市ノ沢川、寺沢川(豊丘村)、朝霧川、戸部川、大島川、漆沢川、蛇川、王生沢川、加賀沢川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、臼井川、久米川、相沢川、留々女川、南沢川(飯田市)、おぎ屋沢川、小横川川、穴野沢川: 現況

(6) 下水道等条件 現況

- ・施設条件: 現況
- ・その他の計算条件等:
  - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
  - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定

(7) 関係市町村  
飯田市、高木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、飯野町

(8) その他計算条件等

- ・この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一般河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を示しています。
- ・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。
- ・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- ・浸水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとで想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続体構造(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図面化しています。
- ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。

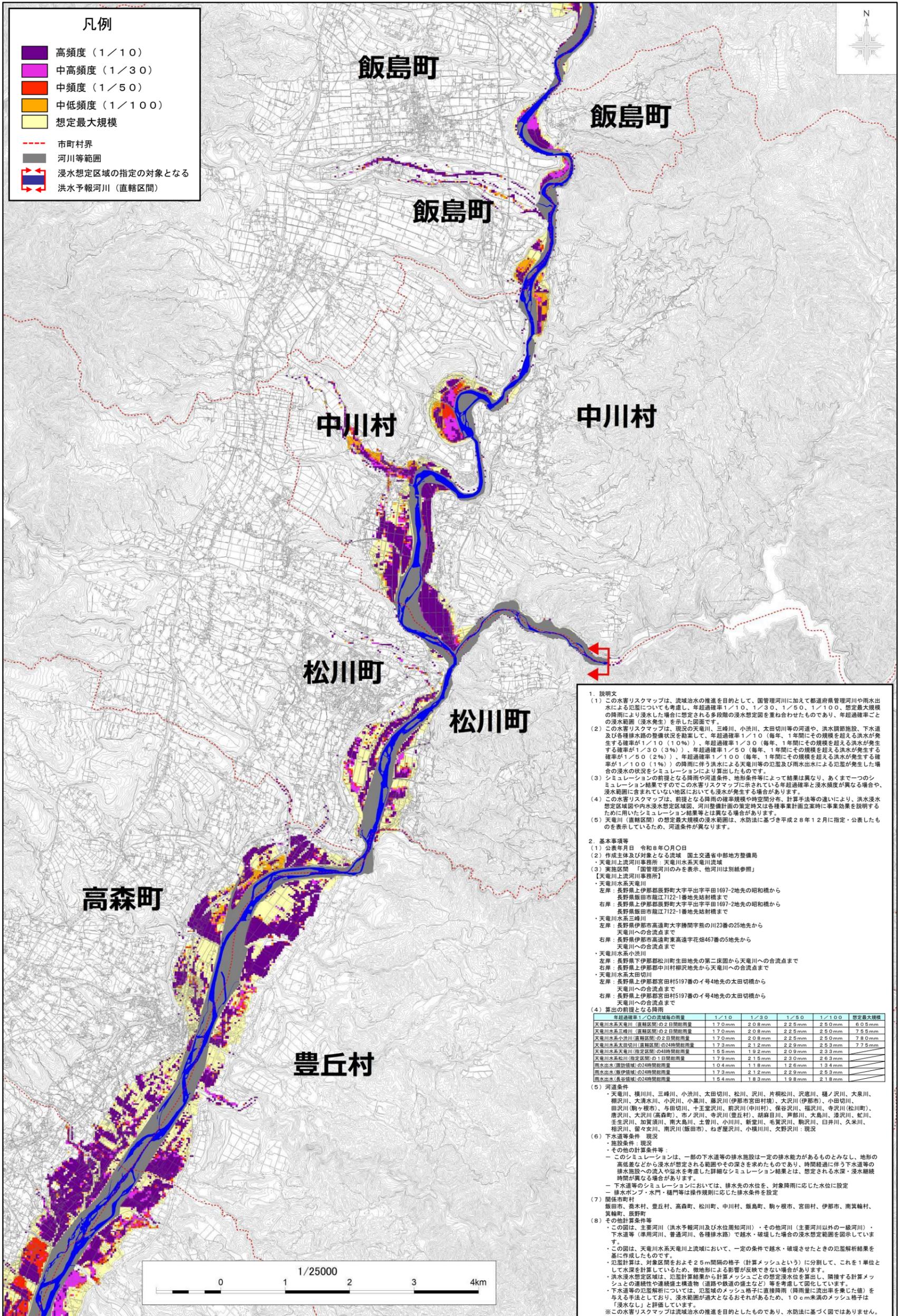
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の3

浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される各段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーションの結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、浸水想定区域図や内外水浸水想定区域図、河川整備計画の想定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水想定範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和8年〇月〇日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域

(3) 実施区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
【天竜川上流河川事務所】  
天竜川水系天竜川  
左岸：長野県伊那郡飯田町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
右岸：長野県飯田市龍江7122-1番地先結射橋まで  
天竜川水系三峰川  
左岸：長野県伊那郡高遠町大字勝間字原の川23番の25地先から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県伊那郡高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
天竜川水系小沢川  
左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床間から天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
天竜川水系太田切川  
左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで

| 年超過確率1/10の流域の雨量         | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川（直轄区間）の2日間総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 60.5mm |
| 天竜川水系三峰川（直轄区間）の2日間総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 75.5mm |
| 天竜川水系小沢川（直轄区間）の2日間総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 78.0mm |
| 天竜川水系太田切川（直轄区間）の24時間総雨量 | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 77.5mm |
| 天竜川水系天竜川（指定区間）の48時間総雨量  | 19.5mm | 19.2mm | 20.0mm | 23.3mm | -      |
| 天竜川水系松川（指定区間）の1日間総雨量    | 17.9mm | 21.5mm | 23.0mm | 26.3mm | -      |
| 雨水出水（諏訪盆地）の24時間総雨量      | 10.4mm | 11.8mm | 12.6mm | 13.4mm | -      |
| 雨水出水（飯伊盆地）の24時間総雨量      | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | -      |
| 雨水出水（長谷盆地）の24時間総雨量      | 15.4mm | 18.3mm | 19.8mm | 21.8mm | -      |

(5) 河道条件  
天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢産川、種ノ沢川、大泉川、藤沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川（伊那市宮田村）、大沢川（伊那市）、小田切川、田沢川（駒ヶ根市）、与田切川、十王堂沢川、前沢川（中川村）、後谷沢川、福沢川、寺沢川（松川町）、唐沢川、大沢川（高森町）、市ノ沢川、市ノ沢川（豊丘村）、胡麻目川、芦野川、大島川、漆沢川、蛇川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土曾川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、臼井川、久米川、相沢川、留々女川、南沢川（飯田市）、おぎ原沢川、小横川川、欠野沢川：現況

(6) 下水道等条件 現況  
施設条件：現況  
その他の計算条件等：  
このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定  
排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村  
飯田市、豊木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町

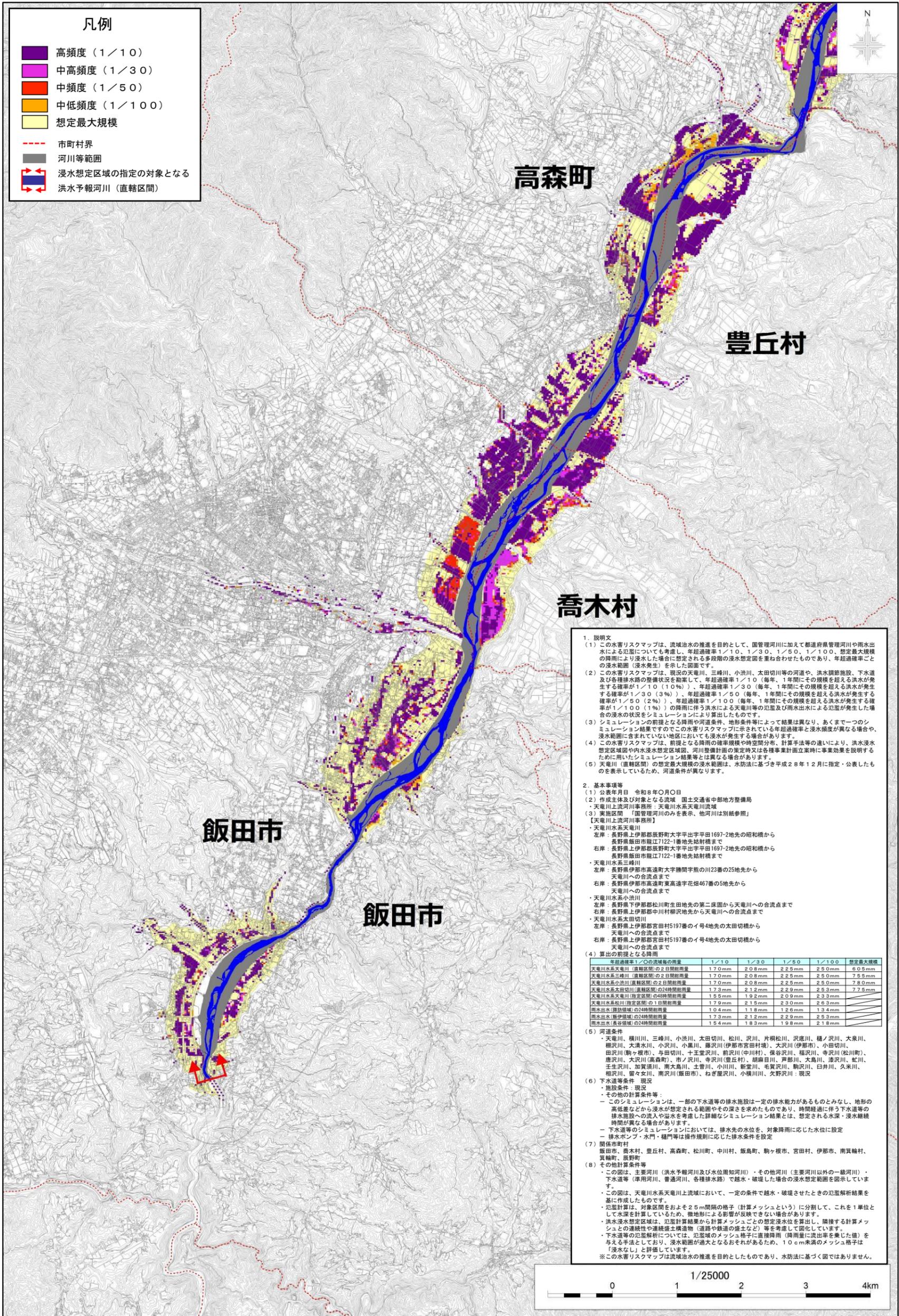
(8) その他計算条件等  
この図は、天竜川（洪水予報河川及び水位周知河川）、その他河川（主要河川以外の一級河川）、下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を示しています。  
この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続橋・連続構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。  
下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づき公表されたものではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の4

浸水が想定される範囲を表示



- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 想定最大規模
  - - - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川(直轄区間)

1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、大田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 天竜川(直轄区間)の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和8年〇月〇日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局

・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域

(3) 実施地区 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」

【天竜川上流河川事務所】

- ・天竜川水系天竜川
  - 左岸：長野県伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
  - 右岸：長野県伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から
- ・天竜川水系三峰川
  - 左岸：長野県伊那郡高遠町大字勝間字龍の川23番の25地先から
  - 天竜川への合流点まで
  - 右岸：長野県伊那郡高遠町東高遠字花畑467番の5地先から
  - 天竜川への合流点まで
- ・天竜川水系小沢川
  - 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床園から天竜川への合流点まで
  - 右岸：長野県下伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
- ・天竜川水系大田切川
  - 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から
  - 天竜川への合流点まで
  - 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から
  - 天竜川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

| 年超過確率1/10の流域毎の雨量       | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川(直轄区間)の2日間総雨量  | 17.0mm | 2.08mm | 2.25mm | 2.50mm | 6.05mm |
| 天竜川水系三峰川(直轄区間)の2日間総雨量  | 17.0mm | 2.08mm | 2.25mm | 2.50mm | 7.50mm |
| 天竜川水系小沢川(直轄区間)の2日間総雨量  | 17.0mm | 2.08mm | 2.25mm | 2.50mm | 7.80mm |
| 天竜川水系大田切川(直轄区間)の2日間総雨量 | 17.3mm | 2.12mm | 2.29mm | 2.53mm | 7.75mm |
| 天竜川水系天竜川(指定区間)の48時間総雨量 | 15.5mm | 1.92mm | 2.09mm | 2.33mm | 2.33mm |
| 天竜川水系三峰川(指定区間)の1日間総雨量  | 17.9mm | 2.15mm | 2.30mm | 2.63mm |        |
| 雨水出水(飯田盆地)の24時間総雨量     | 10.4mm | 1.18mm | 1.29mm | 1.34mm |        |
| 雨水出水(飯田盆地)の24時間総雨量     | 17.3mm | 2.12mm | 2.29mm | 2.53mm |        |
| 雨水出水(長谷盆地)の24時間総雨量     | 15.4mm | 1.83mm | 1.98mm | 2.18mm |        |

(5) 河道条件

- ・天竜川、横川川、三峰川、小沢川、大田切川、松川、沢川、片桐松川、沢鹿川、樋ノ沢川、大泉川、棚沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(伊那市)、高田川、十王堂沢川、龍沢川(中川村)、袋谷沢川、福沢川、寺沢川(松川町)、鹿沢川、大沢川(高森町)、貫ノ沢川、寺沢川(豊丘村)、猪俣川、青柳川、大島川、深沢川、蛇川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、白井川、久米川、相沢川、留々々川、南沢川(飯田市)、ねぎ屋沢川、小横川、欠野沢川：現況

(6) 下水道等条件 現況

- ・施設条件：現況
- ・その他の計算条件等
- このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定し、排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村

飯田市、喬木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町

(8) その他計算条件等

- この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合は浸水想定範囲を示しています。
- この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。
- 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や運搬体(土砂等)の滞留や流速の低下など等を考慮して図化しています。
- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。

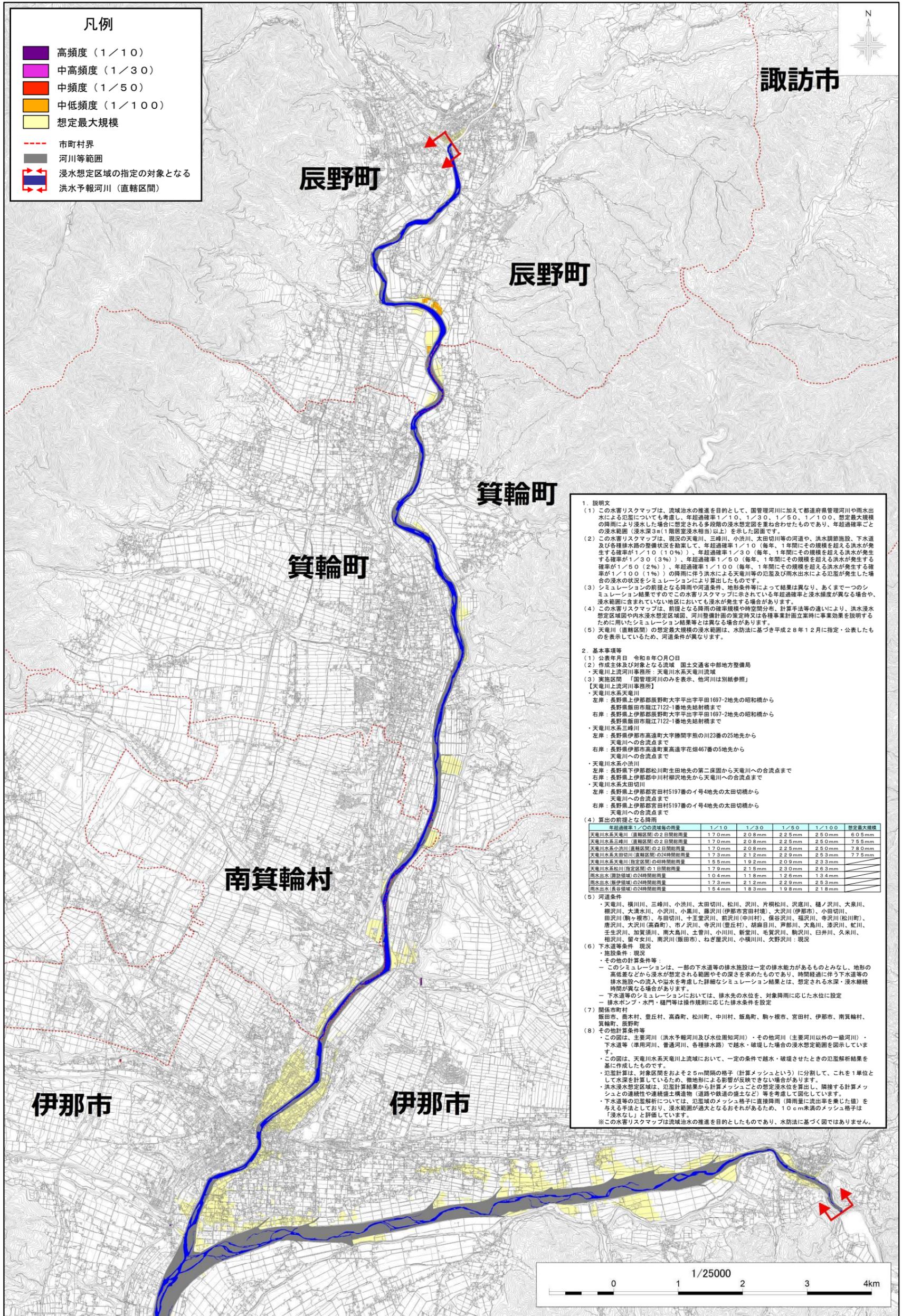
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の1

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文  
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。  
 (2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。  
 (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。  
 (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。  
 (5) 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等  
 (1) 公表年月日 令和8年〇月〇日  
 (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
 ・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域  
 (3) 実施区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
 【天竜川上流河川事務所】  
 ・天竜川水系天竜川  
 左岸：長野県上伊那郡辰野町大字平守平田1697-2地先の昭和橋から  
 右岸：長野県伊那市龍江7122-1地先の先結橋まで  
 ・天竜川水系三峰川  
 左岸：長野県伊那市高遠町大字橋間字龍の川23番の25地先から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
 天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系小沢川  
 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床間から天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
 ・天竜川水系太田切川  
 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
 天竜川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

| 年超過確率1/10の流域毎の雨量         | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川（直轄区間）の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 60.5mm |
| 天竜川水系三峰川（直轄区間）の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 78.5mm |
| 天竜川水系小沢川（直轄区間）の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 78.0mm |
| 天竜川水系太田切川（直轄区間）の24時間の総雨量 | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 77.5mm |
| 天竜川水系天竜川（指定区間）の48時間の総雨量  | 15.5mm | 19.2mm | 20.9mm | 23.3mm | 23.3mm |
| 天竜川水系松川（指定区間）の1日間の総雨量    | 17.9mm | 21.5mm | 23.0mm | 25.3mm | 25.3mm |
| 内水浸水想定区域の24時間の総雨量        | 10.4mm | 11.8mm | 12.6mm | 13.4mm | 13.4mm |
| 雨水出水（仮伊勢橋）の24時間の総雨量      | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 25.3mm |
| 雨水出水（長谷橋）の24時間の総雨量       | 15.4mm | 18.3mm | 19.8mm | 21.8mm | 21.8mm |

(5) 河道条件  
 ・天竜川、横川川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐川、沢川、種ノ沢川、大泉川、藤沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川（伊那市宮田村境）、大沢川（伊那市）、小田切川、田沢川（伊那市）、野田川、中川川、新沢川（伊那市）、保谷沢川、福沢川、寺沢川（松川町）、唐沢川、大沢川（高森町）、西ノ沢川、寺沢川（豊丘村）、新井川、大島川、渡沢川、蛇川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、臼井川、久米川、相沢川、留々川、南沢川（飯田市）、ねぎ屋沢川、小横川川、久野沢川：現況

(6) 下水道等条件 現況  
 ・施設条件：現況  
 ・その他の計算条件等  
 - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定  
 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村  
 飯田市、善木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町

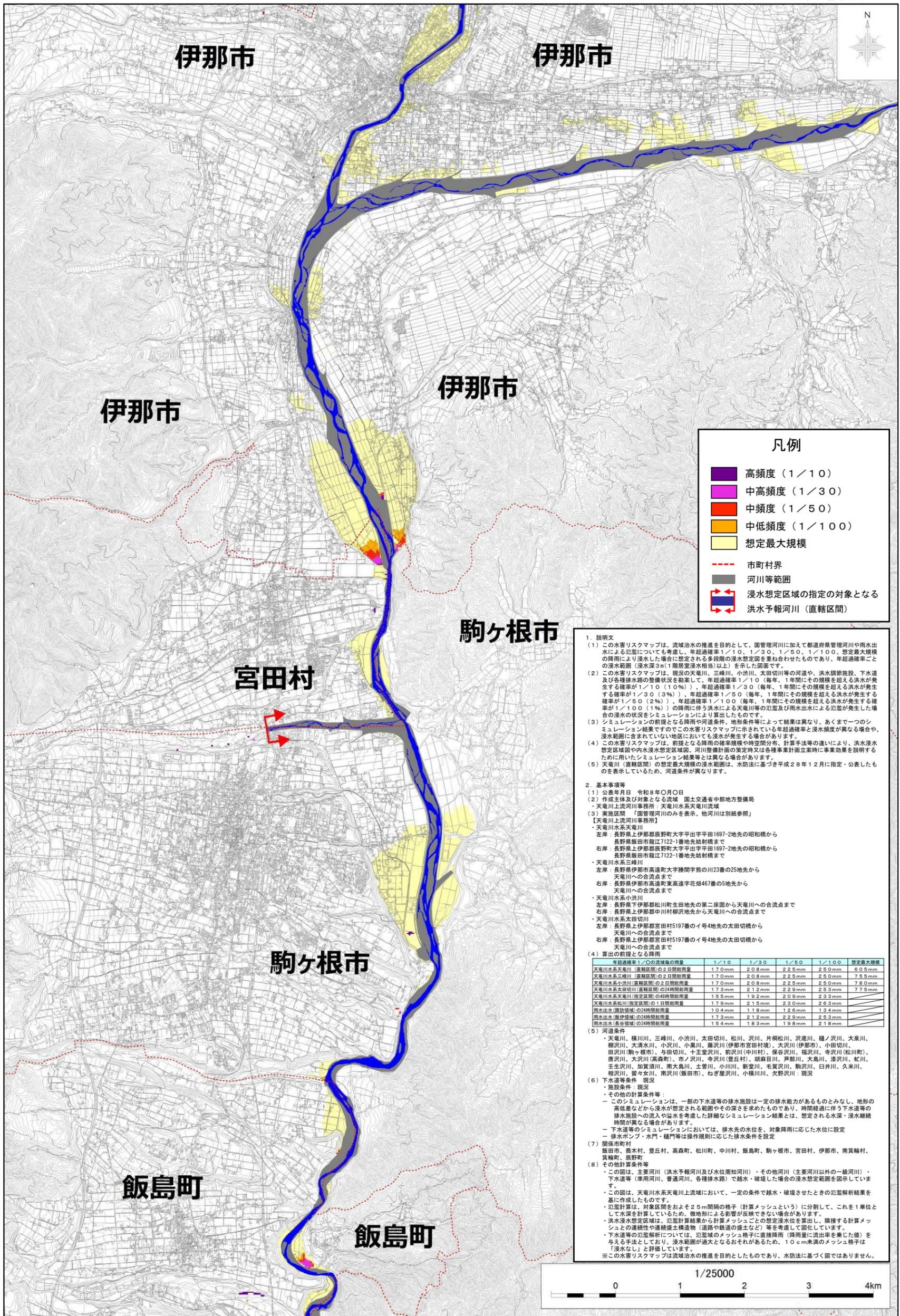
(8) その他計算条件等  
 ・この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一級河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。  
 ・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊されたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
 ・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 ・洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続体（道路や鉄道）の浸水深など）等を考慮して図面化しています。  
 ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
 ※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
 「測量法に基づく国土地理院承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の2

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



### 凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川(直轄区間)

1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を表示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、大田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や内水浸水想定区域、河川整備計画の策定又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 天竜川(直轄区間)の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和6年0月0日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
・天竜川上流河川事務所: 天竜川水系天竜川流域

(3) 実施区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
【天竜川上流河川事務所】  
・天竜川水系天竜川  
左岸: 長野県伊那郡飯田町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
右岸: 長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水まで  
・天竜川水系三峰川  
左岸: 長野県伊那市高遠町大字勝間字龍の川23番の25地先から  
右岸: 長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
・天竜川水系小沢川  
左岸: 長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床園から天竜川への合流点まで  
右岸: 長野県下伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
・天竜川水系太田切川(指定区間)の1日間の降雨量  
左岸: 天竜川への合流点まで  
右岸: 長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

| 年超過確率1/10の流域毎の雨量        | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川(直轄区間)の2日間総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 60.5mm |
| 天竜川水系三峰川(直轄区間)の2日間総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 75.5mm |
| 天竜川水系小沢川(直轄区間)の2日間総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 78.0mm |
| 天竜川水系太田切川(直轄区間)の24時間総雨量 | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 77.5mm |
| 天竜川水系天竜川(指定区間)の48時間総雨量  | 15.5mm | 19.2mm | 20.9mm | 23.3mm | —      |
| 天竜川水系松川(指定区間)の1日間総雨量    | 17.9mm | 21.9mm | 23.0mm | 26.3mm | —      |
| 内水(飯田町)の48時間総雨量         | 10.4mm | 13.9mm | 12.6mm | 13.4mm | —      |
| 雨水出水(飯田町)の24時間総雨量       | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | —      |
| 雨水出水(飯田町)の24時間総雨量       | 15.4mm | 18.3mm | 19.8mm | 21.8mm | —      |

(5) 河道条件  
・天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢鹿川、樋ノ沢川、大泉川、鶴沢川、大清水川、小沢川、小瀬川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、与田切川、七宝堂沢川、新沢川(中川村)、飯谷沢川、新沢川、寺沢川(松川町)、鹿沢川、大沢川(高森町)、市ノ沢川、寺沢川(豊丘村)、胡麻目川、戸部川、大島川、漆沢川、蛇川、壬生沢川、加賀沢川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、白井川、久米川、相沢川、留々女川、南沢川(飯田市)、おぎ屋沢川、小横川川、穴野沢川: 現況

(6) 下水道条件: 現況  
施設等の計算条件等:  
- このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定し排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村  
飯田市、高木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、飯田町

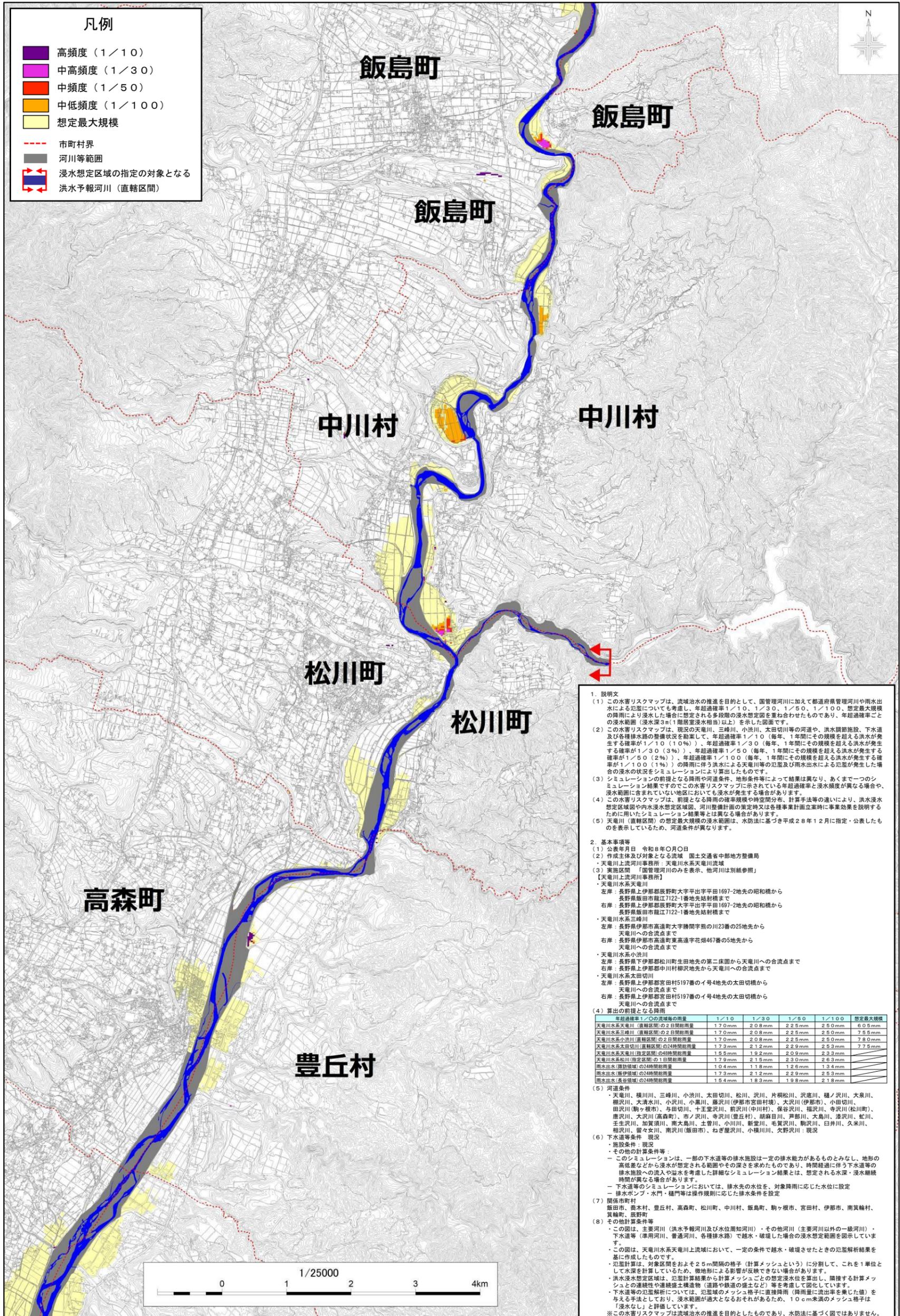
(8) その他計算条件等  
- この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一般河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を表示しています。  
- この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
- 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
- 浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続体構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図示しています。  
- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の3

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示

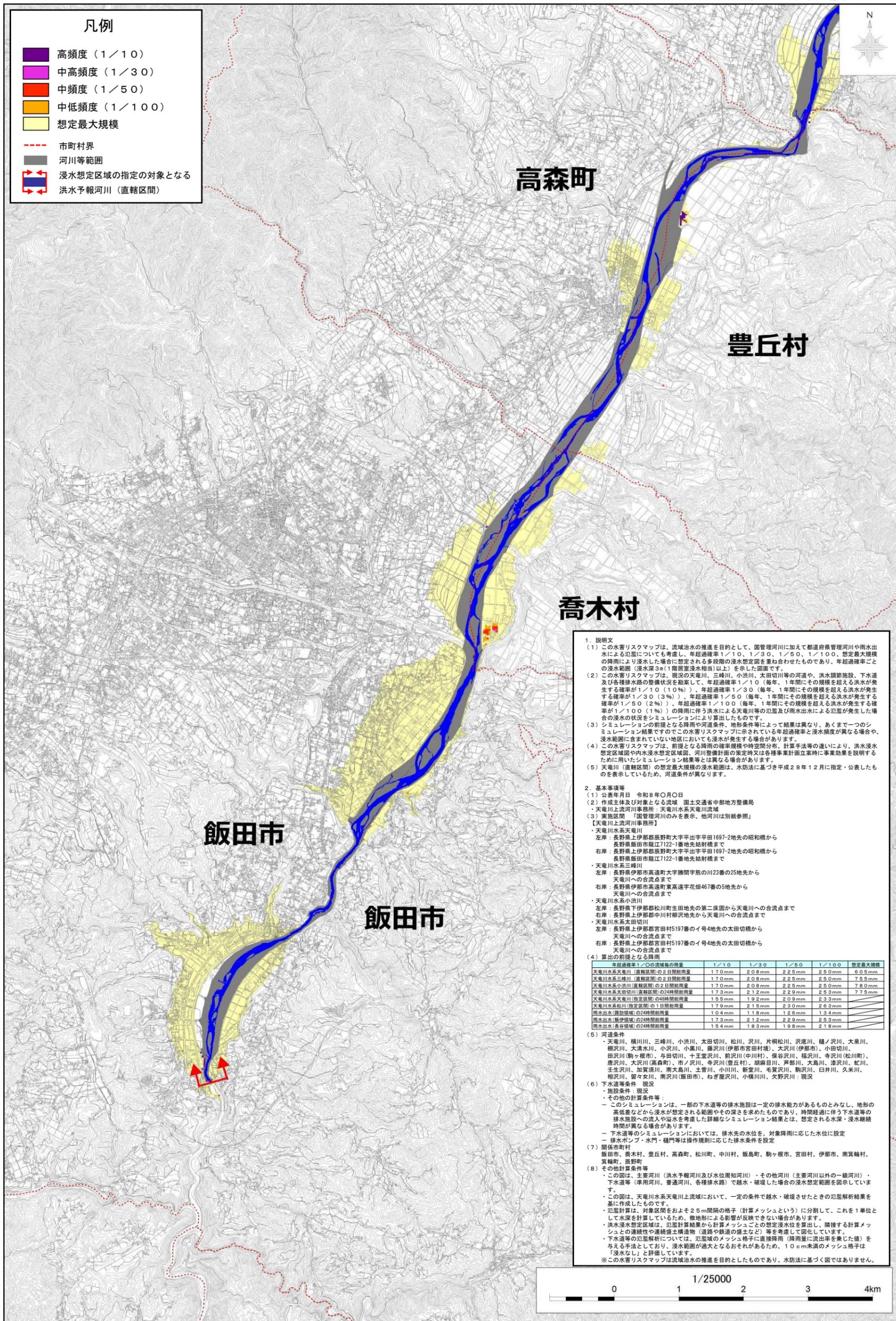


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の4

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示

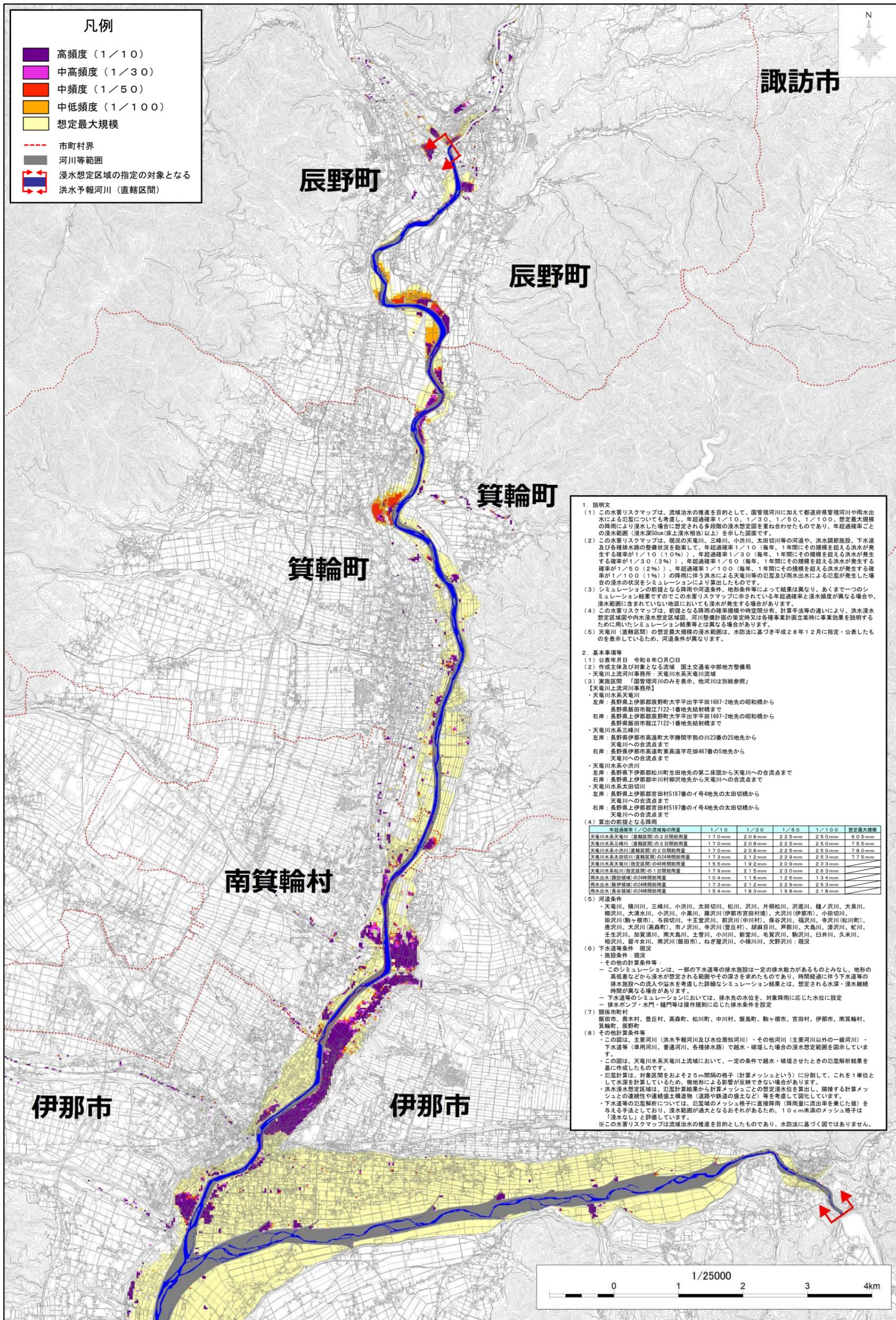


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の1

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 想定最大規模
  - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川（直轄区間）

**1. 説明文**

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
- (4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
- (5) 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

**2. 基本事項等**

- (1) 公表年月日 令和8年〇月〇日
- (2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局
- 天竜川上流河川事務所 天竜川水系天竜川流域
- (3) 実施期間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」
- 天竜川上流河川事務所
- 天竜川水系天竜川
- 左岸：長野県伊那郡辰野町大字平守平田1697-2地先の昭和橋から
- 右岸：長野県伊那郡辰野町大字平守平田1697-2地先の昭和橋から
- 天竜川水系三峰川
- 左岸：長野県伊那郡高遠町大字橋間字龍の川23番の25地先から
- 天竜川への合流点まで
- 右岸：長野県伊那郡高遠町東高遠字花畑467番の5地先から
- 天竜川への合流点まで
- 天竜川水系小沢川
- 左岸：長野県伊那郡松川町生田地先の第二床間から天竜川への合流点まで
- 右岸：長野県伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
- 天竜川水系太田切川
- 左岸：長野県伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から
- 天竜川への合流点まで
- 右岸：長野県伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から
- 天竜川への合流点まで

**(4) 算出の前提となる降雨**

| 年超過確率1/〇〇の流域毎の雨量         | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川（直轄区間）の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 60.5mm |
| 天竜川水系三峰川（直轄区間）の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 7.5mm  |
| 天竜川水系小沢川（直轄区間）の2日間の総雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 7.8mm  |
| 天竜川水系太田切川（直轄区間）の24時間の総雨量 | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 77.5mm |
| 天竜川水系天竜川（指定区間）の48時間の総雨量  | 15.5mm | 19.2mm | 20.9mm | 23.3mm | 23.3mm |
| 天竜川水系松川（指定区間）の1日間の総雨量    | 17.9mm | 21.5mm | 23.0mm | 25.3mm | —      |
| 内水浸水想定区域の24時間の総雨量        | 10.4mm | 11.8mm | 12.6mm | 13.4mm | —      |
| 雨水出水（飯伊橋域）の24時間の総雨量      | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | —      |
| 雨水出水（長谷橋域）の24時間の総雨量      | 15.4mm | 18.3mm | 19.8mm | 21.8mm | —      |

**(5) 河道条件**

- 天竜川、横川川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐川、沢川、種ノ沢川、大泉川、藤沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川（伊那市宮田村境）、大沢川（伊那市）、小田切川、田沢川（伊那市）、野田川、十五堂沢川、新沢川（中川村）、保谷沢川、福沢川、寺沢川（松川町）、唐沢川、大沢川（高森町）、西ノ沢川、寄沢川（飯伊村）、新島川、栗原川、大島川、浅沢川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、臼井川、久米川、相沢川、留々川、南沢川（飯田市）、ねぎ屋沢川、小横川川、久野沢川：現況

**(6) 下水道等条件** 現況

- 施設条件：現況
- その他の計算条件等
- このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定
- 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

**(7) 関係市町村** 飯田市、善木村、豊丘町、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町

**(8) その他計算条件等**

- この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一級河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。
- この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊されたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。
- 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続体（道路や鉄道）の浸水深など）等を考慮して図面化しています。
- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。

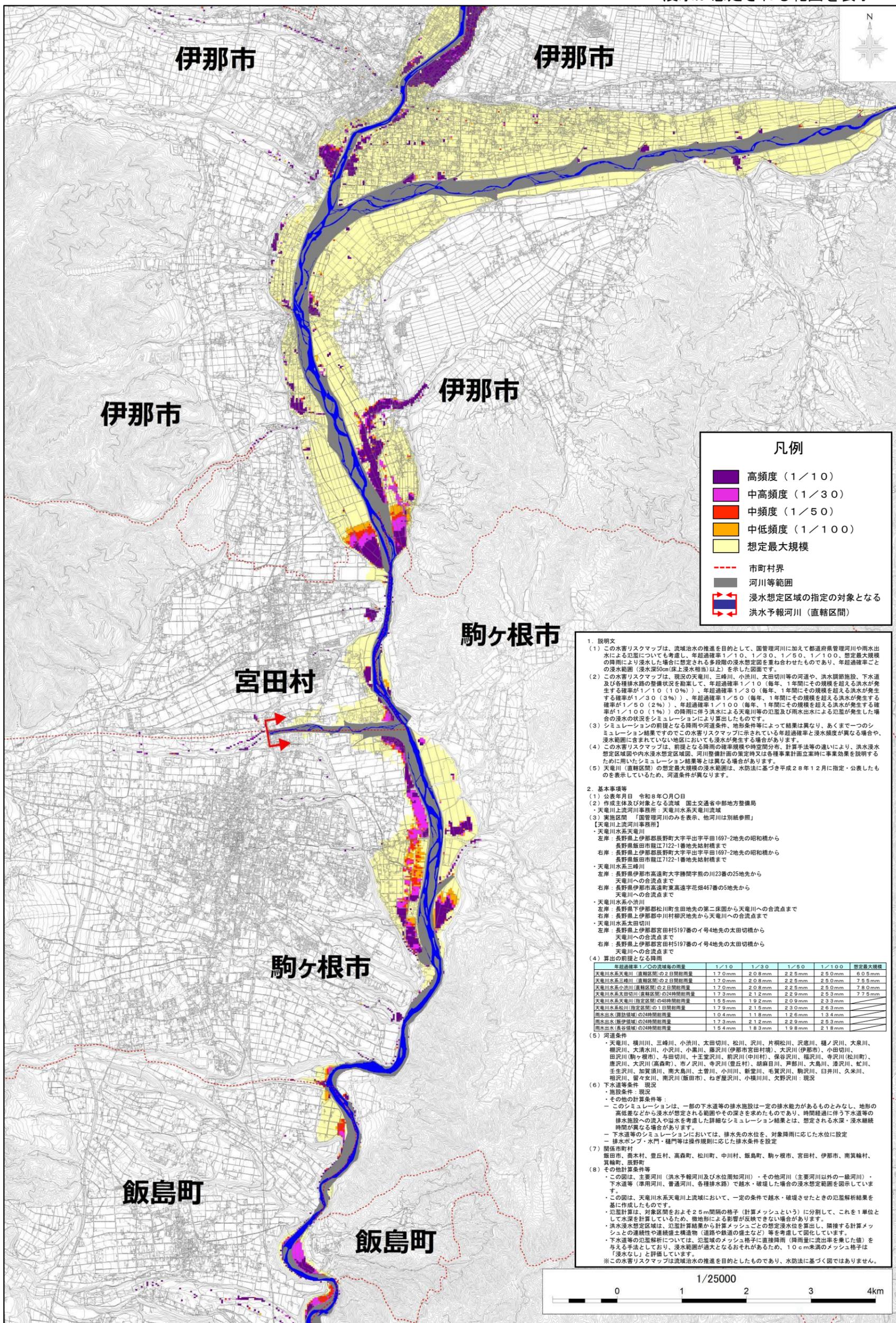
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。  
「測量法に基づく国土地理院承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の2

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



### 凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川(直轄区間)

1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を表示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河川や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河川条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や内水浸水想定区域、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和6年〇月〇日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域

(3) 実施区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
【天竜川上流河川事務所】  
・天竜川水系天竜川  
左岸：長野県伊那郡飯田町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
右岸：長野県飯田市龍江7122-1番地先給排水橋まで  
・天竜川水系三峰川  
左岸：長野県伊那郡高遠町大字勝間字勝の川23番の25地先から  
右岸：長野県伊那郡高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
・天竜川水系小沢川  
左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床園から天竜川への合流点まで  
右岸：長野県下伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
・天竜川水系太田切川(指定区間)の1日間の降雨  
左岸：天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

| 年超過確率1/10の流域毎の雨量         | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川(直轄区間)の2日間の降雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 60.5mm |
| 天竜川水系三峰川(直轄区間)の2日間の降雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 75.5mm |
| 天竜川水系小沢川(直轄区間)の2日間の降雨量   | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 78.0mm |
| 天竜川水系太田切川(直轄区間)の24時間の降雨量 | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 77.5mm |
| 天竜川水系天竜川(指定区間)の48時間の降雨量  | 15.5mm | 19.2mm | 20.9mm | 23.3mm | —      |
| 天竜川水系松川(指定区間)の1日間の降雨量    | 17.9mm | 21.9mm | 23.0mm | 26.3mm | —      |
| 雨水(保伊田)の24時間の降雨量         | 19.4mm | 13.9mm | 12.6mm | 13.4mm | —      |
| 雨水出水(保伊田)の24時間の降雨量       | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | —      |
| 雨水出水(保谷)の24時間の降雨量        | 15.4mm | 18.3mm | 19.8mm | 21.8mm | —      |

(5) 河道条件  
・天竜川、横川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢鹿川、樋ノ沢川、大泉川、鶴沢川、大清水川、小沢川、小瀬川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、与田切川、七宝堂沢川、新沢川(中川村)、保谷沢川、新沢川、寺沢川(松川町)、鹿沢川、大沢川(高森町)、市ノ沢川、寺沢川(豊丘村)、胡麻目川、戸部川、大島川、漆沢川、蛇川、壬生沢川、加賀沢川、南大島川、土管川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、白井川、久米川、相沢川、留々川、南沢川(飯田市)、おぎ屋沢川、小横川川、穴野沢川：現況

(6) 下水道等条件 現況  
施設等の計算条件等  
- このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定し排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村  
飯田市、高木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、飯田町

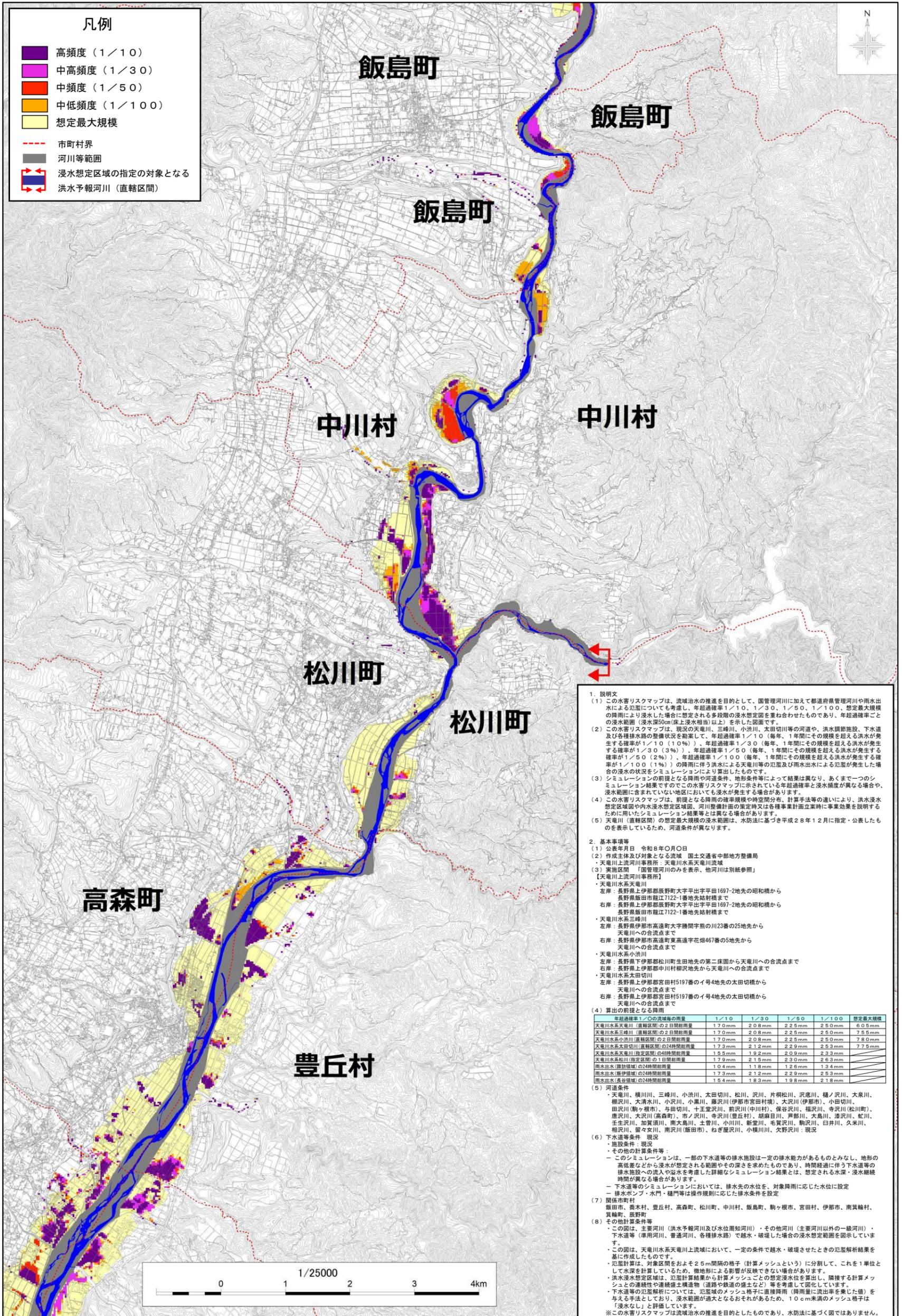
(8) その他計算条件等  
- この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一般河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を表示しています。  
- この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
- 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
- 浸水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続体構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図面化しています。  
- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の3

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 想定最大規模
  - - - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川(直轄区間)

1. 説明文

- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を兼ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
- この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、太田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
- この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、浸水浸水想定区域図や内外水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
- 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

- 公表年月日 令和8年〇月〇日
- 作成主体及び対象となる流域 国土交通省中部地方整備局  
天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域
- 実施区間 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
【天竜川上流河川事務所】  
・天竜川水系天竜川  
左岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯田市龍江7122-1番地先結射橋まで  
右岸：長野県上伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯田市龍江7122-1番地先結射橋まで  
・天竜川水系三峰川  
左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字龍の川23番の25地先から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
・天竜川水系小沢川  
左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床園から天竜川への合流点まで  
天竜川水系太田切川  
左岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで  
・天竜川水系太田切川  
左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで

(4) 算出の浸水

| 年超過確率1/100の流域毎の雨量      | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川(直轄区間)の2日間総雨量  | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 60.5mm |
| 天竜川水系三峰川(直轄区間)の2日間総雨量  | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 75.5mm |
| 天竜川水系小沢川(直轄区間)の2日間総雨量  | 17.0mm | 20.8mm | 22.5mm | 25.0mm | 78.0mm |
| 天竜川水系太田切川(直轄区間)の2日間総雨量 | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | 77.5mm |
| 天竜川水系天竜川(指定区間)の4時間総雨量  | 15.5mm | 19.2mm | 20.9mm | 23.3mm | -      |
| 天竜川水系小沢川(指定区間)の4時間総雨量  | 17.9mm | 21.5mm | 23.0mm | 26.3mm | -      |
| 雨水出水(諏訪盆地)の24時間総雨量     | 10.4mm | 11.8mm | 12.6mm | 13.4mm | -      |
| 雨水出水(飯伊盆地)の24時間総雨量     | 17.3mm | 21.2mm | 22.9mm | 25.3mm | -      |
| 雨水出水(長谷盆地)の24時間総雨量     | 15.4mm | 18.3mm | 19.8mm | 21.8mm | -      |

(5) 河道条件

- 天竜川、横川川、三峰川、小沢川、太田切川、松川、沢川、片桐松川、沢産川、種ノ沢川、大泉川、横沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(駒ヶ根市)、身田切川、十王堂沢川、前沢川(中川村)、保谷沢川、福沢川、寺沢川(松川町)、唐沢川、大沢川(高森町)、市ノ沢川(豊丘村)、胡麻目川、芦野川、大島川、津沢川、蛇川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土倉川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、臼井川、久米川、相沢川、留々女川、南沢川(飯田市)、おぎ屋沢川、小横川川、久野沢川：現況

(6) 下水道条件

- 施設条件：現況
- その他の計算条件等：
  - このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
  - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定
  - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定

(7) 関係市町村

飯田市、豊木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町

(8) その他計算条件等

- この図は、主要河川(洪水予報河川及び水位用知河川)・その他河川(主要河川以外の一級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破壊した場合の浸水想定範囲を明示しています。
- この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破壊させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。
- 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図示しています。
- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と詳細しています。

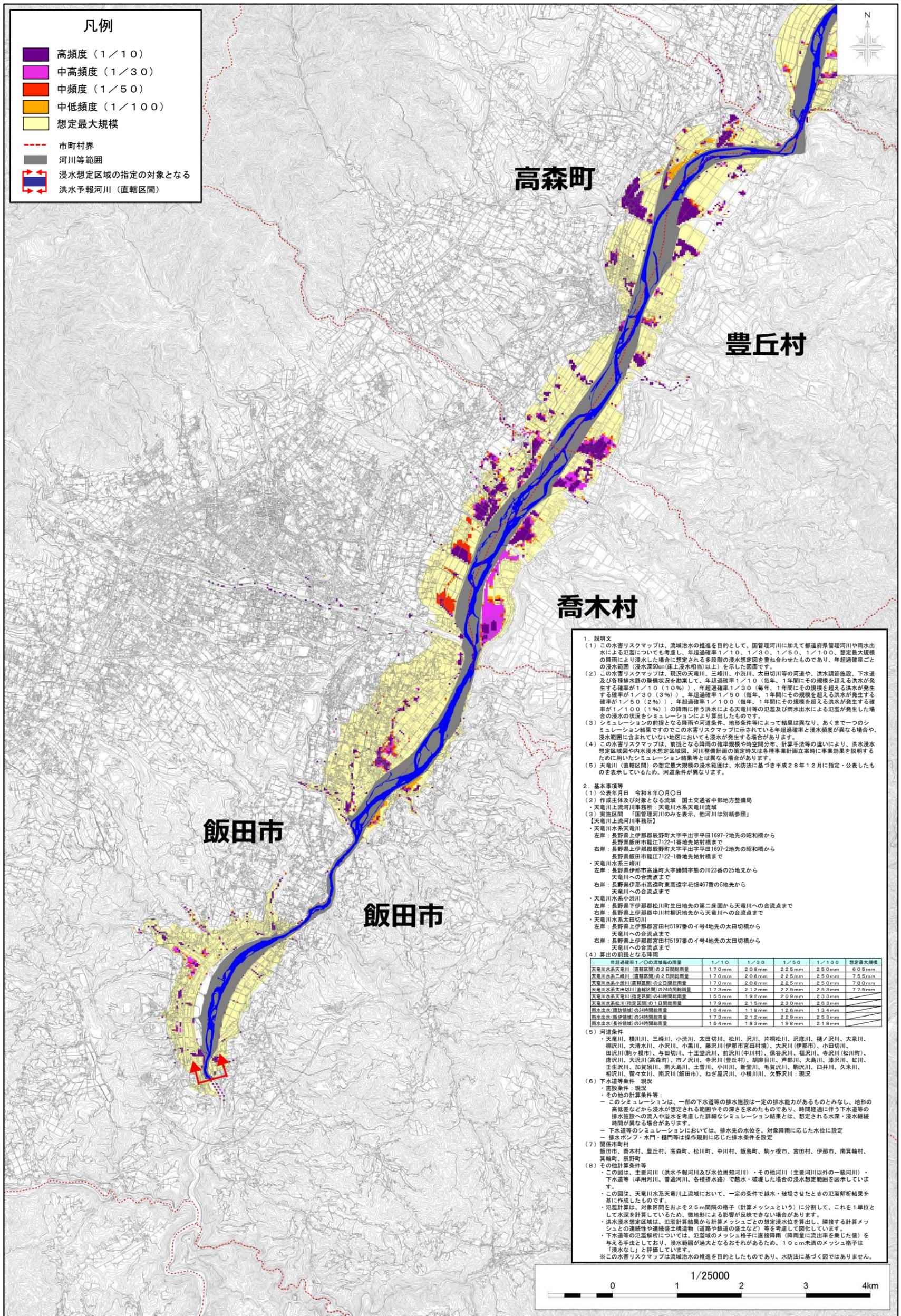
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R7JHs739」

# 天竜川水系 内外水統合の水害リスクマップ

## 【現況河道】 4分の4

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示



- 凡例**
- 高頻度 (1/10)
  - 中高頻度 (1/30)
  - 中頻度 (1/50)
  - 中低頻度 (1/100)
  - 想定最大規模
  - 市町村界
  - 河川等範囲
  - 浸水想定区域の指定の対象となる  
洪水予報河川（直轄区間）

1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm(床上浸水相当)以上）を表示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の天竜川、三峰川、小沢川、大田切川等の河道や、洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による天竜川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況やシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですのでこの水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 天竜川（直轄区間）の想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

(1) 公表年月日 令和8年〇月〇日

(2) 作成主体及び対象となる地域 国土交通省中部地方整備局  
・天竜川上流河川事務所：天竜川水系天竜川流域

(3) 実施地区 「国管理河川のみを表示、他河川は別紙参照」  
【天竜川上流河川事務所】  
・天竜川水系天竜川  
左岸：長野県伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
右岸：長野県伊那郡辰野町大字平出字平田1697-2地先の昭和橋から  
長野県飯田市龍江7122-1番地先結針橋まで  
・天竜川水系三峰川  
左岸：長野県伊那市高遠町大字神間字龍の川23番の25地先から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から  
天竜川への合流点まで  
・天竜川水系小沢川  
左岸：長野県伊那郡松川町生田地先の第二床間から天竜川への合流点まで  
右岸：長野県伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで  
・天竜川水系大田切川  
左岸：長野県伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

| 年超過確率1/10の浸水の雨量        | 1/10   | 1/30   | 1/50   | 1/100  | 想定最大規模 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 天竜川水系天竜川(直轄区間)の2日間総雨量  | 1.70mm | 2.08mm | 2.25mm | 2.50mm | 6.05mm |
| 天竜川水系三峰川(直轄区間)の2日間総雨量  | 1.70mm | 2.08mm | 2.25mm | 2.50mm | 7.55mm |
| 天竜川水系小沢川(直轄区間)の2日間総雨量  | 1.70mm | 2.08mm | 2.25mm | 2.50mm | 7.80mm |
| 天竜川水系大田切川(直轄区間)の2日間総雨量 | 1.73mm | 2.12mm | 2.29mm | 2.53mm | 7.75mm |
| 天竜川水系天竜川(指定区間)の48時間総雨量 | 1.55mm | 1.92mm | 2.09mm | 2.33mm |        |
| 天竜川水系三峰川(指定区間)の1日間総雨量  | 1.79mm | 2.15mm | 2.30mm | 2.63mm |        |
| 雨水出水(飯谷橋)の24時間総雨量      | 1.04mm | 1.18mm | 1.29mm | 1.34mm |        |
| 雨水出水(飯谷橋)の24時間総雨量      | 1.73mm | 2.12mm | 2.29mm | 2.53mm |        |
| 雨水出水(長谷橋)の24時間総雨量      | 1.54mm | 1.83mm | 1.98mm | 2.18mm |        |

(5) 河道条件  
・天竜川、横川川、三峰川、小沢川、大田切川、松川、沢川、片桐松川、沢鹿川、樋ノ沢川、大泉川、棚沢川、大清水川、小沢川、小黒川、藤沢川(伊那市宮田村境)、大沢川(伊那市)、小田切川、田沢川(伊那市)、各田切川、十王堂沢川、龍沢川(中川村)、袋谷沢川、福沢川、寺沢川(松川町)、鹿沢川、大沢川(高森町)、野沢川、寺沢川(豊丘村)、楯岡川、青野川、大島川、大島川、北川、壬生沢川、加賀須川、南大島川、土質川、小川川、新堂川、毛賀沢川、駒沢川、白井川、久米川、相沢川、留々川、南沢川(飯田市)、ねぎ屋沢川、小横川川、欠野沢川：現況

(6) 下水道等条件 現況  
・施設条件：現況  
・その他の計算条件等  
- このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。  
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定

(7) 関係市町村  
飯田市、豊木村、豊丘村、高森町、松川町、中川村、飯島町、駒ヶ根市、宮田村、伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町

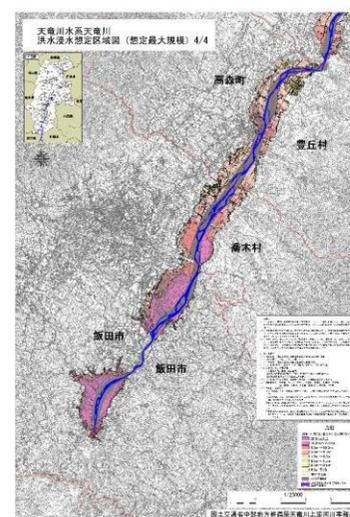
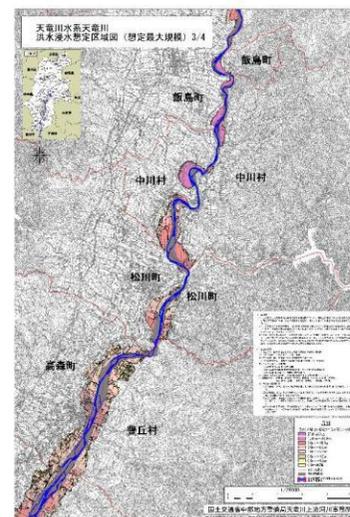
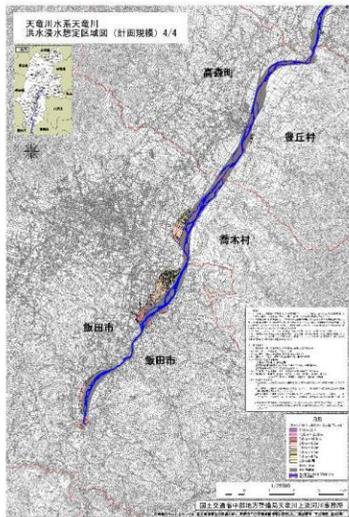
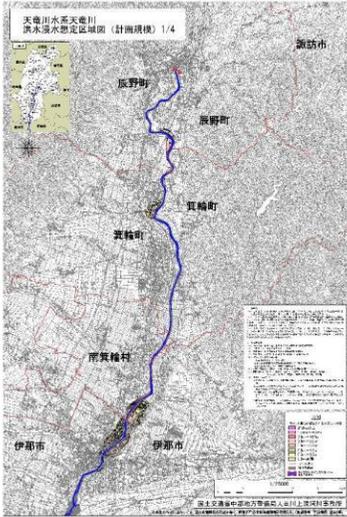
(8) その他計算条件等  
・この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一級河川）・下水道等（準用河川、普通河川、各種排水路）で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を示しています。  
・この図は、天竜川水系天竜川上流域において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。  
・氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
・洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続体土壌建物（道路や鉄道など）等を考慮して図化しています。  
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。  
※この水害リスクマップは流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7JHs 739」

- 天竜川上流河川事務所では、天竜川上流の洪水予報区間を対象に、想定最大規模降雨や計画規模を対象とした「洪水浸水想定区域図」を公表しました（平成28年12月公表）。
- 水害リスク情報の空白域を解消するため、令和3年の水防法改正により、洪水浸水想定区域の指定対象を住宅等の防護対象のある全ての一級河川及び二級河川に拡大しました。
- これを受けて、新たに三峰川、小渋川、太田切川を対象として、令和7年度中に洪水浸水想定区域図を公表することとなりました。

## 計画規模(L1:W=1/100雨量確率規模)

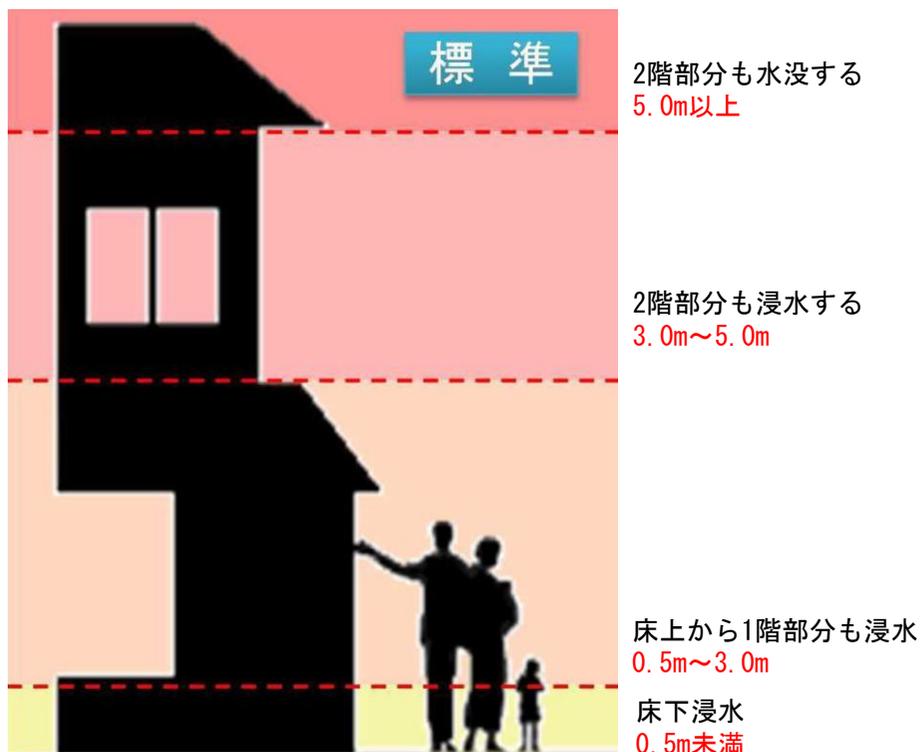
## 想定最大規模(L2規模)



## 浸水区域と浸水深

- 洪水浸水想定区域図では、想定した大雨が降った時に浸水するおそれのある区域の浸水深を包括的に示しています。
- 浸水深は、一般的な住宅において床下程度となる0.5m未満、床上から1階が浸水する0.5～3.0m、2階部分も浸水する3.0～5.0m、2階も水没する5.0m以上の4段階に加え、10m、20m以上等の浸水深を表示・着色しています。
- ただし、雨の降り方や考慮していない高潮や内水の氾濫などにより、同図の浸水区域よりも浸水が広がる可能性もあることに注意してください。

◆表示されている浸水深から、水害時でも被害リスクの小さい住まい方、命を守るための避難の仕方などの参考にしてください。



天竜川上流：近年の洪水による堤防決壊事例  
【平成18年7月豪雨】堤防決壊に伴う浸水被害状況

※天竜川上流河川事務所HPより

## 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食・氾濫流による家屋倒壊)

- 河川の流れが激しいと、河岸が削られ土地が流失することがあります。これを「河岸侵食」といい、今般の検討において**洪水時に河岸侵食のおそれのある区域を『家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)』**として図示。
- 洪水時における氾濫水の作用力が大きな範囲は、氾濫時に家屋の倒壊や流失を招く危険性があります。今般の検討において**氾濫水による家屋倒壊等のおそれのある危険区域について、『家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)』**として図示。



(避難対策に資する情報の提供が期待されます。)

- ◆集中豪雨による全国的な水害の頻発を受け、地域ごとの水害の特徴に応じた的確な避難のあり方が問われています。浸水深が比較的浅く浸水継続時間が短い区域など、家屋内に留まることにより安全を確保できるところでは、垂直避難も対策の一つとなります。
- ◆ただし、**家屋倒壊等氾濫想定区域内では木造家屋の倒壊リスクが大きい**ため、**より安全なところに避難するなどの検討が必要です。**



河岸侵食による被害の事例  
【昭和49年多摩川狛江水害】  
※関東地方整備局HPより



家屋倒壊による被害の事例  
【平成27年9月関東・東北豪雨】  
※国土交通省HPより

## その他の情報

- 河川の氾濫では、地盤の高さ等に応じて浸水は徐々に深くなりピークを迎え、その後、排水等により浸水深が下がっていきます。浸水が始まり解消するまでの時間を『浸水継続時間』として提供します。
- 氾濫水は地形や地物に沿って広がっていきますが、堤防が決壊した時刻を基準として浸水が始まる時の時間を『浸水到達時間』として提供します。（浸水ナビ）
- 破堤箇所（堤防決壊箇所）ごとの氾濫シミュレーション結果を『破堤箇所別時系列浸水区域』として提供します。（浸水ナビ）
  
- ◆浸水時には停電が発生し、水道やトイレが使用できなくなるなど、ライフラインの途絶により生活が困難となります。浸水が浅く、短時間で解消する場合には、垂直避難も可能ですが、**浸水継続時間が長い場合には、ライフラインの途絶を考慮し避難所などへの水平避難を検討する必要があります。**
- ◆浸水想定区域図では氾濫水の時間ごとの広がり方などを知ることができません。**浸水ナビから提供する破堤箇所別時系列浸水区域では、時間を追った浸水の変化を見ることができます。**避難の方向、ルートを検討などに役立てることが考えられます。

## 概要

○水害リスク情報の空白域を解消するため、令和3年の水防法改正により、洪水浸水想定区域の指定対象を住宅等の防護対象のある全ての一級河川及び二級河川に拡大しました。

➡ 新たに三峰川、小渋川、太田切川を対象として、令和7年度中に洪水浸水想定区域図を公表することとなりました。

令和7年12月10～24日

洪水浸水想定区域図 意見照会



令和8年2月9日

流域治水協議会 幹事会 協議

令和8年2月25日

流域治水協議会 協議



※ご意見・ご質問

令和8年3月(予定)

天竜川上流河川事務所ホームページ 公表

# 天竜川水系三峰川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



伊那市

伊那市

宮田村

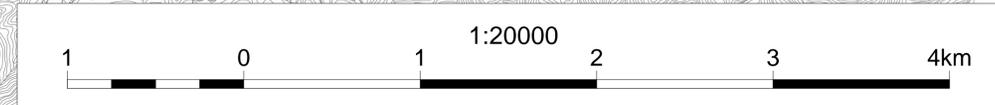
駒ヶ根市

1 説明文  
 (1) この図は、天竜川水系三峰川の国管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の三峰川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により三峰川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等  
 (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所  
 (2) 指定年月日 令和 年 月 日  
 (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号  
 (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項  
 (5) 対象となる国管理河川  
 ・天竜川水系三峰川（実施区間）  
 左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字熊の川123番の25地先から天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から天竜川への合流点まで  
 (6) 指定の前提となる降雨 三峰川流域の4 8 時間総雨量7 5 5 mm  
 (7) 関係市町村 伊那市、駒ヶ根市  
 (8) その他計算条件等  
 この図は、三峰川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。  
 この図は、三峰川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1 単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性及び連続盛土構築物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

凡例  
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

|  |                    |
|--|--------------------|
|  | 0.3m未満の区域          |
|  | 0.3m ~ 0.5m未満の区域   |
|  | 0.5m ~ 1.0m未満の区域   |
|  | 1.0m ~ 3.0m未満の区域   |
|  | 3.0m ~ 5.0m未満の区域   |
|  | 5.0m ~ 10.0m未満の区域  |
|  | 10.0m ~ 20.0m未満の区域 |
|  | 20.0m以上の区域         |
|  | 市町村境界              |
|  | 河川等範囲              |
|  | 浸水想定区域の指定の対象となる河川  |



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 令 情使 第 号）

# 天竜川水系三峰川 洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



伊那市

伊那市

宮田村

駒ヶ根市

- 1 説明文  
 (1) この図は、天竜川水系三峰川の国管理区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。  
 (2) この浸水継続時間は、指定時点の三峰川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により三峰川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等  
 (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所  
 (2) 指定年月日 令和 年 月 日  
 (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号  
 (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項  
 (5) 対象となる国管理河川  
 ・天竜川水系三峰川（実施区間）  
 左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字篠の川23番の25地先から天竜川への合流点まで  
 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から天竜川への合流点まで  
 (6) 指定の前提となる降雨 三峰川流域の4.8時間総雨量7.5mm  
 (7) 関係市町村 伊那市、駒ヶ根市  
 (8) その他計算条件等  
 この図は、三峰川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。  
 この図は、三峰川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

**凡例**

浸水継続時間（ランク別）

- ~ 12時間
- ~ 24時間（1日間）
- ~ 72時間（3日間）
- ~ 168時間（1週間）
- ~ 336時間（2週間）
- ~ 672時間（4週間）
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 令 情使 第 号）

# 天竜川水系三峰川 洪水浸水想定区域図（計画規模）



伊那市

伊那市

宮田村

駒ヶ根市

- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系三峰川の国管理区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
  - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の三峰川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 1 / 100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1 / 100（1%））の降雨に伴う洪水により三峰川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 指定年月日 令和 年 月 日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号
  - (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
  - (5) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系三峰川（実施区間）
    - 左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字熊の川23番の25地先から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から天竜川への合流点まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 天竜川上流域の2日間総雨量250mm
  - (7) 関係市町村
  - (8) その他計算条件等
    - この図は、三峰川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。
    - この図は、三峰川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
    - 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
    - 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

**凡例**  
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

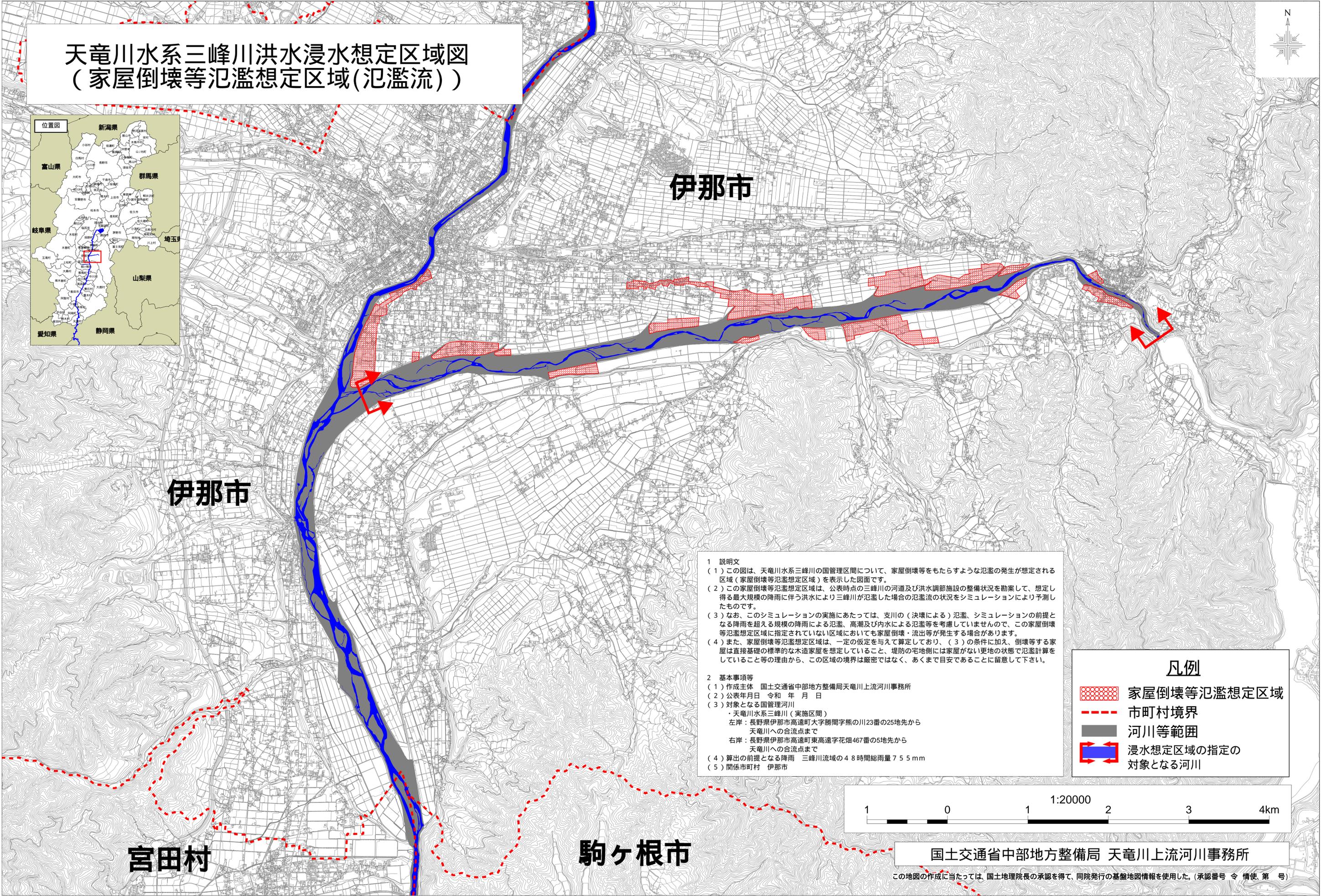
|  |                    |
|--|--------------------|
|  | 0.3m未満の区域          |
|  | 0.3m ~ 0.5m未満の区域   |
|  | 0.5m ~ 1.0m未満の区域   |
|  | 1.0m ~ 3.0m未満の区域   |
|  | 3.0m ~ 5.0m未満の区域   |
|  | 5.0m ~ 10.0m未満の区域  |
|  | 10.0m ~ 20.0m未満の区域 |
|  | 20.0m以上の区域         |

市町村境界  
 河川等範囲  
 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 令 情使 第 号）

# 天竜川水系三峰川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))



伊那市

伊那市

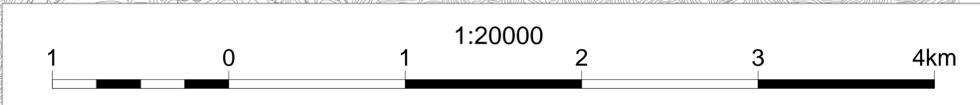
宮田村

駒ヶ根市

- 1 説明文
  - (1) この図は、天竜川水系三峰川の国管理区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の三峰川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により三峰川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。
- 2 基本事項等
  - (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 公表年月日 令和 年 月 日
  - (3) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系三峰川(実施区間)
    - 左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字熊の川23番の25地先から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から天竜川への合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨 三峰川流域の4.8時間総雨量7.5.5mm
  - (5) 関係市町村 伊那市

**凡例**

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 令 情使 第 号)

# 天竜川水系三峰川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))



伊那市

伊那市

宮田村

駒ヶ根市

- 1 説明文
  - (1) この図は、天竜川水系三峰川の国管理区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の三峰川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により三峰川の河岸の侵食幅を予測したものです。
  - (3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、三峰川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。
- 2 基本事項等
  - (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 公表年月日 令和 年 月 日
  - (3) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系三峰川(実施区間)
    - 左岸：長野県伊那市高遠町大字勝間字熊の川23番の25地先から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県伊那市高遠町東高遠字花畑467番の5地先から天竜川への合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨 三峰川流域の4.8時間総雨量7.55mm
  - (5) 関係市町村 伊那市

**凡例**

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令 情使 第 号)

# 天竜川水系小渋川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



中川村

松川町

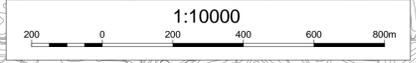
- 1 説明文
- この図は、天竜川水系小渋川の国管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
  - この洪水浸水想定区域図は、指定時点の小渋川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小渋川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

- 2 基本事項等
- 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - 指定年月日 令和 年 月 日
  - 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号
  - 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
  - 対象となる国管理河川
    - 天竜川水系小渋川（実施区間）
    - 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床固から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
  - 指定の前提となる降雨 小渋川流域の4.8時間総雨量78.0mm
  - 関係市町村 中川村
  - その他計算条件等
 

この図は、小渋川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。  
この図は、小渋川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

凡例  
浸水した場合に想定される水深  
（ランク別）

|  |                    |
|--|--------------------|
|  | 0.3m未満の区域          |
|  | 0.3m ~ 0.5m未満の区域   |
|  | 0.5m ~ 1.0m未満の区域   |
|  | 1.0m ~ 3.0m未満の区域   |
|  | 3.0m ~ 5.0m未満の区域   |
|  | 5.0m ~ 10.0m未満の区域  |
|  | 10.0m ~ 20.0m未満の区域 |
|  | 20.0m以上の区域         |
|  | 市町村境界              |
|  | 河川等範囲              |
|  | 浸水想定区域の指定の対象となる河川  |



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 令 情使 第 号）

# 天竜川水系小渋川 洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



中川村

松川町

- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系小渋川の国管理区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
  - (2) この浸水継続時間は、指定時点の小渋川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小渋川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 指定年月日 令和 年 月 日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号
  - (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
  - (5) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系小渋川（実施区間）
    - 左岸：長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床固から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 小渋川流域の4.8時間総雨量7.80mm
  - (7) 関係市町村 中川村
  - (8) その他計算条件等
- この図は、小渋川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図を图示しています。  
この図は、小渋川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

凡例

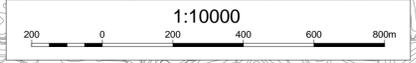
浸水継続時間(ランク別)

- ~ 12時間
- ~ 24時間(1日間)
- ~ 72時間(3日間)
- ~ 168時間(1週間)
- ~ 336時間(2週間)
- ~ 672時間(4週間)

--- 市町村境界

■ 河川等範囲

⇄ 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 令 情使 第 号)

# 天竜川水系小渋川 洪水浸水想定区域図（計画規模）



中川村

松川町

- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系小渋川の国管理区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
  - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の小渋川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率 1 / 1 0 0（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1 / 1 0 0（1%））の降雨に伴う洪水により小渋川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

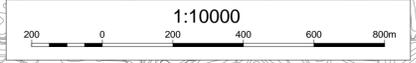
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 指定年月日 令和 年 月 日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号
  - (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
  - (5) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系小渋川（実施区間）
    - 左岸：長野県上伊那郡松川町生田地先の第二床固から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 天竜川上流域の2日間総雨量 2 5 0 mm
  - (7) 関係市町村
  - (8) その他計算条件等
 

この図は、小渋川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。  
この図は、小渋川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
氾濫計算は、対象区間をおよそ 25m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

|                    |
|--------------------|
| 0.3m未満の区域          |
| 0.3m ~ 0.5m未満の区域   |
| 0.5m ~ 1.0m未満の区域   |
| 1.0m ~ 3.0m未満の区域   |
| 3.0m ~ 5.0m未満の区域   |
| 5.0m ~ 10.0m未満の区域  |
| 10.0m ~ 20.0m未満の区域 |
| 20.0m以上の区域         |
| 市町村境界              |
| 河川等範囲              |
| 浸水想定区域の指定の対象となる河川  |



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。（承認番号 令 情使 第 号）

# 天竜川水系小渋川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))



中川村

松川町

## 1 説明文

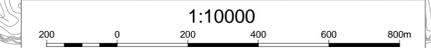
- (1) この図は、天竜川水系小渋川の国管理区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の小渋川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小渋川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。

## 2 基本事項等

- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
- (2) 公表年月日 令和 年 月 日
- (3) 対象となる国管理河川
  - ・天竜川水系小渋川(実施区間)
  - 左岸:長野県下伊那郡松川町生田地先の第二床固から天竜川への合流点まで
  - 右岸:長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨 小渋川流域の48時間総雨量780mm
- (5) 関係市町村

## 凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 令 情使 第 号)

# 天竜川水系小渋川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))



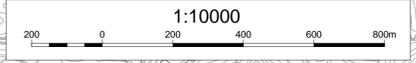
中川村

松川町

- 1 説明文
  - (1) この図は、天竜川水系小渋川の国管理区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の小渋川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小渋川の河岸の侵食幅を予測したものです。
  - (3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、小渋川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。
- 2 基本事項等
  - (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 公表年月日 令和 年 月 日
  - (3) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系小渋川(実施区間)
    - 左岸:長野県下伊那郡松川町生田地先から天竜川への合流点まで
    - 右岸:長野県上伊那郡中川村柳沢地先から天竜川への合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨 小渋川流域の48時間総雨量780mm
  - (5) 関係市町村 中川村

**凡例**

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令 情使 第 号)

# 天竜川水系太田切川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

宮田村

駒ヶ根市



- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系太田切川の国管理区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
  - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の太田切川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により太田切川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 指定年月日 令和 年 月 日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号
  - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
  - (5) 対象となる国管理河川  
・天竜川水系太田切川（実施区間）  
左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで  
右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から  
天竜川への合流点まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 太田切川流域の2.4時間総雨量77.5mm
  - (7) 関係市町村 駒ヶ根市、宮田村
  - (8) その他計算条件等  
この図は、太田切川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。  
この図は、太田切川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。  
氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。  
洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

凡例

浸水した場合に想定される水深  
（ランク別）

|                    |
|--------------------|
| 0.3m未満の区域          |
| 0.3m ~ 0.5m未満の区域   |
| 0.5m ~ 1.0m未満の区域   |
| 1.0m ~ 3.0m未満の区域   |
| 3.0m ~ 5.0m未満の区域   |
| 5.0m ~ 10.0m未満の区域  |
| 10.0m ~ 20.0m未満の区域 |
| 20.0m以上の区域         |

--- 市町村境界  
■ 河川等範囲  
■ 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 令 情使 第 号）

# 天竜川水系太田切川 洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

宮田村

駒ヶ根市



- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系太田切川の国管理区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
  - (2) この浸水継続時間は、指定時点の太田切川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により太田切川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 指定年月日 令和 年 月 日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号
  - (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
  - (5) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系太田切川（実施区間）
    - 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 太田切川流域の2.4時間総雨量77.5mm
  - (7) 関係市町村 駒ヶ根市、宮田村
  - (8) その他計算条件等
    - この図は、太田切川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。
    - この図は、太田切川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
    - 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

凡例

浸水継続時間(ランク別)

- ~ 12時間
- ~ 24時間(1日間)
- ~ 72時間(3日間)
- ~ 168時間(1週間)
- ~ 336時間(2週間)
- ~ 672時間(4週間)

--- 市町村境界

■ 河川等範囲

⇄ 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令 情使、第 号)

# 天竜川水系太田切川 洪水浸水想定区域図（計画規模）

宮田村

駒ヶ根市



- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系太田切川の国管理区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
  - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の太田切川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により太田切川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 指定年月日 令和 年 月 日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第 号
  - (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項
  - (5) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系太田切川（実施区間）
    - 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 太田切川流域の24時間総雨量253mm
  - (7) 関係市町村 駒ヶ根市、宮田村
  - (8) その他計算条件等
 

この図は、太田切川の国管理区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。この図は、太田切川の国管理区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

## 凡例 浸水した場合に想定される水深 （ランク別）

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川

1:10000  
200 0 200 400 600 800m

国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 令 情使 第 号）

# 天竜川水系太田切川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

宮田村

駒ヶ根市



- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系太田切川の国管理区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の太田切川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により太田切川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 公表年月日 令和 年 月 日
  - (3) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系太田切川(実施区間)
    - 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨 太田切川流域の2.4時間総雨量7.75mm
  - (5) 関係市町村

**凡例**

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令 情使、第 号)

# 天竜川水系太田切川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))

宮田村

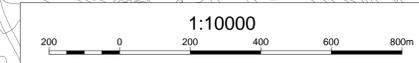
駒ヶ根市



- 1 説明文
- (1) この図は、天竜川水系太田切川の国管理区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
  - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の太田切川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により太田切川の河岸の侵食幅を予測したものです。
  - (3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、太田切川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - (2) 公表年月日 令和 年 月 日
  - (3) 対象となる国管理河川
    - ・天竜川水系太田切川（実施区間）
    - 左岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
    - 右岸：長野県上伊那郡宮田村5197番のイ号4地先の太田切橋から天竜川への合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨 太田切川流域の2.4時間総降雨7.5mm
  - (5) 関係市町村 駒ヶ根市、宮田村

**凡例**

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- ← 浸水想定区域の指定の対象となる河川



国土交通省中部地方整備局 天竜川上流河川事務所

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令 情使 第 号)

## ①洪水浸水想定区域図

- ・ 諏訪建設事務所管内：解析作業中  
意見照会 令和8年3月初旬予定  
公表 令和8年3月末予定
- ・ 伊那建設事務所管内：意見照会完了（一部未完了あり）  
公表 令和8年3月末予定
- ・ 飯田建設事務所管内：意見照会 令和8年2月中予定  
公表 令和8年3月末予定

## ②水害リスクマップ（外水のみ）

- ・ 伊那建設事務所管内：解析作業中  
公表 令和8年3月末予定